

技術士キャリアモデル集

—あなたも技術のプロフェッショナルになりませんか？—

第1版



目次



はじめに.....	1
技術士って.....	3
キャリアモデル.....	8
Q&A.....	50
編集後記.....	65

表紙イラスト 神田蘭子さん（女子美術大学）

船の舵は、技術士になるためのスタート（船出）や、さらなる研鑽をイメージしています。この冊子を手にとったあなたも、技術のプロフェッショナルを目指して、舵を切りましょう。

はじめに



公益社団法人 日本技術士会 男女共同参画推進委員会

委員長 石田 佳子

公益社団法人日本技術士会男女共同参画推進委員会は、2011年の設立以来、女性技術者のキャリア形成支援、女性技術士の増加や技術士の知名度向上を図る活動、また、男女共同参画の推進に資する活動を積極的に推進しています。女性が技術者としてキャリアを積み重ねて行くためには、今なお、女性ならではの障壁の存在は否めません。また、理工系に学ぶ女子学生、若手女性技術者には、技術者としての自分の将来の姿をイメージできない人が少なくありません。

当委員会は、彼女たちに充実したキャリアを積んでもらうことを目的とし、現役の技術士との懇談の場「技術サロン」を開催しています。技術サロンは現在11年目、委員会の重要な活動の一つとなっており、「女性技術者育成への提言」（次ページ参照）も発信しています。

また、委員会のウェブサイトでは男性女性を問わずロールモデルを紹介しています。

さて、この度わたしたちは、「技術士キャリアモデル集－あなたも技術のプロフェッショナルになりませんか？－」を発行いたしました。

男女共同参画推進委員会のウェブサイトに登場している方をはじめ、20名の技術士が、キャリア形成や技術士としての働き方などを語っています。

学生や技術者の方、技術士を目指す方、学校関係や企業の方（特にリーダーや管理職、技術者を育成する立場にある方）に手に取っていただきたい一冊です。

技術者として社会にはばたき、キャリアを重ねていく過程は、専門とする技術や所属する組織・立場、性別、また、家庭など自身の置かれている環境により十人十色です。

しかし、自らの技術に対する責任はもとより、人々の安全、福祉などの公益を損なわず、

社会に対して責任をもつ姿勢は誰も同じです。技術士を身近に感じ、そして技術士をさらに知っていただき、ご自身のキャリア形成に、あるいは、技術者の育成にお役立ていただきたく思います。

また、本書は「技術サロン」に参加した学生や女性技術者のみなさんの質問や悩み、これらに対する委員会の回答を Q&A として収めています。

併せてご参考にしていただければ幸いです。

※技術サロンは、当委員会の前身であるプロジェクトチームにより 2008 年 11 月に第 1 回を開催、委員会設立後は委員会が引き継いでいます。

－女性技術者育成への提言 Ver.2 (2019.9)－

1. 教育機関においては、女性の職域の多様性を紹介することが重要である。
2. 女性は結婚、出産等のイベント年齢をあらかじめ特定できない。一律ではなく個人に即したロードマップが有効である。
3. 女性の力を最大限伸ばすためには、所属長や先輩は、良き理解者・相談相手となるべきである。
4. 女性の指導的地位を確立し、指導的立場の女性の増加に向けたロードマップが必要である。
5. 業種・業界の枠を超えた取り組みが必要であり、多くのロールモデルや導入した制度などの情報を共有し幅広い活動を展開、社会全体で意識を醸成すべきである。

技術士って



日本技術士会で発行している案内パンフレット「技術士って」を p.4～p.7 に掲載します。子供たち向けにイラストで説明したのですが、内容は、技術士資格の特徴や、技術士がどのように社会に関わっているか、技術士の義務や責務について、簡潔に示しています。参考にしていただくとともに、年齢を問わず、理工系を目指す学生さんや技術者・技術士を目指すみなさまにご紹介下さい。

技術士

って？

～これが技術士の世界～

「技術士」という仕事がありますが、みなさんは知っていましたか？

私たちの社会は、さまざまな科学技術によって支えられることにより便利で快適な生活が送れるようになっています。「技術士」は、科学や技術の能力を持ち、その能力を活かして社会のために働く「技術者」のな

かで、国の試験を受けて合格した人だけが使うことができる名称です。みなさんの毎日の生活のなかで、「技術士」に出会うことはあまりないでしょう。しかし身近なところで技術士の世界にふれていると思います。そんな技術士の世界を、技術士の山田さんに代表して説明してもらいましょう。

ぼく健太、6年生。今日は、お父さんの友達の山田さんに会いに来たんだ。山田さんは「技術士」なんだって。どんなお仕事をしているのかな？いろいろ聞いてみよう。

健太くん

千晶ちゃん

私は千晶、5年生なの。「技術士」は国家資格ですごく難しい試験に合格した人だけになれるって、お父さんから聞いたわ。

ハハハ、健太くん、千晶ちゃん、いらっしゃい。よく来てくれたね。今日は、「技術士」の仕事について、君たちにいろいろ教えてあげよう。

技術士の山田さん

技術士さんってどうやったらなれるのかな？

技術士になるにはね、お医者さんや弁護士さんと同じような、国の資格が必要なんだよ。大学などで専門的な勉強をして、まず修習技術者というのになって、それから、仕事などで経験を積んで、国家試験を受けて合格するとなれるんだよ。

技術士さんって、どんな所で働いているの？

私は、自分で“山田技術士事務所”っていう事務所を開いて、仕事をしているんだよ。そのほか、技術士には会社や学校、研究所などに勤めている人たちもいるんだ。

ぼく、お父さんと一緒によく川に行くよ。

ハゼとか、ザリガニとか、ヤゴとか川の生きものが好きなんだ。こういうことを仕事している技術士の人もいるのかな？

お医者さんが小児科や眼科に分かれているように、技術士も、建設部門や情報工学科部門をはじめ21の部門に分かれているんだよ。

川の生きものの研究や、水をきれいにしたり、自然にやさしくて洪水にもまけない川づくりに取り組んでいる技術士もいるよ。

それから、自然や科学だけじゃなく、工場をどう動かすのが良いとか、便利で安全な品質の良いものを作るための工夫をする仕事をしている技術士もいるよ。技術士の仕事はさまざまなんだ。



何でもできるんだね、すごい！

でもね、社会のために働くとか、秘密をもらしちゃいけないとか、決まりがあるんだ。それを守ることができるのが技術士なんだよ。





いろいろところで技術士ぎじゅつしが取り組んでいるんだよ。
それにみんなみんなでCO₂の削減や安全安心などの
共通の問題にも取り組んでいるんだよ。

材 料



農業部門の技術士Aさん



ケーキ作りには、春夏秋冬、フレッシュなイチゴが必要なのよ。

私は、いつでもおいしいイチゴを育てることができる温室の開発に取り組んでいるのよ。



生乳工学部門の技術士Bさん



私は、安全・安心なケーキをつくるため、材料の牛乳やタマゴの検査けんさをしたり、新しい検査方法を研究したりしているのよ。



上下水道部門の技術士Cさん



ほくは、ケーキをつくる水をきれいにしたり、工場から出る排水を安全に処理するしくみをつくったりしているんだよ。

つくる(加工)



機械工学部門の技術士Dさん



いろいろな種類のケーキをたくさんつくる工場には、さまざまな機械があるの。
私は、工場の機械の動きをコンピュータシステムで管理しているのよ。

機械部門の技術士Eさん



ケーキづくりには、タマゴをたくさん使うよ。
たくさんたくさんのタマゴを衛生的に、早くはやく割る機械を開発したんだよ。



電気電子部門の技術士Fさん



機械を動かすには電気が必要だね。ほくは、工場工場で電気が効率良く使えるようようなしくみをつくっているんだよ。

おやつをどうぞ！
このケーキにも、多くの技術士ぎじゅつしが関わっているんだよ。



えっ?!?
ケーキ作りはケーキ屋さんのパティシエの仕事じゃないの？



そうだ、ケーキはお菓子工場でも作っているよね。
でも、技術士ぎじゅつしさんはどこどこにいるのかな？



技術士には、このほか、船舶・海洋部門、航空・宇宙部門、繊維部門、金属部門、資源工學部門、水産部門、応用理學部門、原子力・放射線部門、総合技術監理部門があります。

はんばん 売るとき(販売)



農産工學部門の技術士Gさん



私は、工場で作ったケーキを、各地のお店にきちんと届けたり、品切れや作りすぎにならないようなくみを作っているんだよ。



農産工學部門の技術士Hさん



私は、ケーキをフレッシュでおいしくみなさんに食べてもらえるように、お店の空気をきれいにするしくみをつくっているよ。

化学部門の技術士Iさん



私は、ケーキを長持ちさせる特殊な包装フィルムの開発に取り組んでいるよ。

エコ ECOな取り組み



建設部門の技術士Jさん



私は、クリーンな工場づくりや、安全、ECOにケーキを運ぶ道路や鉄道の建設に取り組んでいるよ。



環境部門の技術士Kさん



私は、農場や工場から出てくる水が、魚の住めるような水かどうかをチェックするなど、環境にやさしい取り組みをしているのよ。



森林部門の技術士Lさん



私は、工場の敷地内にいろいろな木を植えて、地球温暖化の原因になるCO₂を吸収する緑の環境づくりに取り組んでいるんだよ。



どう？

なんとなく技術士が理解できたかな。



私たちが気づかないところで、技術士さんがいろいろな技術や社会活動に取り組んでいるのね。



ほくもそんな技術士になりたいな。



少し技術士の仕事が解ってきたかな。
 試しにYes-No 迷路で遊んでみよう。

START

技術士は、試験に合格してなれる国の資格です。

Yes

No

MEMO

国の試験に合格してなれる資格には、他に医師や弁護士があるんだよね。

技術者が試験に合格して技術士になるんだよ。

だから同じような仕事をしていても、技術士とそうでない人がいるのね。

技術士は、試験に合格したらもう勉強をしなくてもいい。

Yes

No

技術士さんって大変なんだよね。

技術士はずっと勉強し続けていくことが決められているんだよ。

MEMO
 科学や技術、社会のことを勉強し続けていく義務があるんですって。

技術士は、社会のために働く義務があります。

Yes

No

MEMO

ほかにも秘密をもらしちゃいけないとか、技術士を名乗るときは正しくとかあるんだよ。

技術士には「守らなければならない義務と責務」が法律で定められているんだよ。

だから技術士はみんなに信用されるんだね。

これであなたも技術士が身近になりましたね。

GOAL

◆技術士に会うには？

⇒公益社団法人日本技術士会では、小学校高学年の理科授業支援や理科出前授業を各地でお手伝いしています。「理科教室」などのお知らせを見たら技術士がお手伝いしているか聞いてみましょう。

◆技術士についてもっと聞きたいときは？

⇒公益社団法人日本技術士会は、東京の統括本部のほか全国に地域本部、県支部があります。近くの本部、支部に問い合わせてください。



公益社団法人 日本技術士会
 The Institution of Professional Engineers, Japan

東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 2階 TEL03-3459-1331

北海道本部(札幌市) TEL(011) 801-1617

東北本部(仙台市) TEL(022) 723-3755

北陸本部(新潟市) TEL(025) 281-2009

神奈川県支部 kanagawa@engineer.or.jp

埼玉県支部 saitama@engineer.or.jp

長野県支部 nagano@engineer.or.jp

中部本部(名古屋) TEL(052) 571-7801

近畿本部(大阪市) TEL(06) 6444-3722

中国本部(広島市) TEL(082) 511-0305

山梨県支部 yamanashi@engineer.or.jp

千葉県支部 chiba@engineer.or.jp

茨城県支部 ibaraki@engineer.or.jp

四国本部(高松市) TEL(087) 887-5557

九州本部(福岡市) TEL(092) 432-4441

栃木県支部 tochigi@engineer.or.jp

群馬県支部 gunma@engineer.or.jp

キャリアモデル



技術者として働いている人の中には、将来に向けてどのように経験を積んで行けばいいのか、と悩む人も少なからずいるでしょう。また、学生であれば、理工系に進みたいけれど、どのような職業があるのか、自分にできるのか、など、不安を抱えている人もいます。キャリアモデルとしてここに掲載したみなさんの記事を読んでいただくことで、そうした悩みや不安を越える勇気を得ていただき、技術士の魅力にたっぷり触れただけのことと思います。

また、当委員会では、キャリアモデルとして、様々な部門の技術士あるいは修習技術者を委員会のウェブサイトで紹介しています。本冊子で紹介した技術士も、殆どの方がウェブサイトに登場しています。冊子にはないお話もありますので、是非、冊子とあわせてご覧ください。

委員会トップ画面

https://www.engineer.or.jp/c_cmt/danjyo/



委員会キャリアモデル

https://www.engineer.or.jp/c_cmt/danjyo/categories/index575615.html



キャリアモデル一覧

掲載順	氏名	技術士部門	掲載ページ
1	苗井 洋子	電気電子	10
2	前田 秀一	化学/総合技術監理	12
3	勝見 百合	金属	14
4	古賀 沙織	資源工学	16
5	飯島 玲子	建設/総合技術監理	18
6	榎並 万里子	建設	20
7	真田 純子	建設/環境/総合技術監理	22
8	高橋 健一	建設/総合技術監理	24
9	多田 照代	建設/農業/環境	26
10	永井 登茂美	建設/総合技術監理	28
11	花岡 史恵	建設	30
12	水出 佳奈	建設/総合技術監理	32
13	峯岸 律子	建設	34
14	高橋 裕二	農業/総合技術監理	36
15	小松 加奈	経営工学	38
16	武井 遼	経営工学	40
17	石田 厚子	情報工学	42
18	田中 尚	応用理学/総合技術監理	44
19	佐藤 律子	環境/建設/総合技術監理	46
20	中田 よしみ	原子力・放射線部門	48

※キャリアモデルの掲載順は、技術士法施行規則で定める技術部門の順であり、部門が同じ場合はあいうえお順です。

世界を広げる

苗井 洋子

技術士（電気電子部門）

株式会社 中電工

工業高校電気科卒



1 技術士を目指したきっかけ

私の勤務先では資格取得が推奨されており、1級電気施工管理技士などの必須資格の取得後は技術士など高度な資格へ挑戦することとなります。私も技術系として入社したので、経験を積んでいつか技術士を取得できたらと思っていました。ある年、受験者を社内選考する際、当時の上司が私を推薦してくださりました。上司の「できると思ったから推薦した」との言葉に背中を押されて受験しました。年齢も若かったので少々背伸びだと思いつつも、上司の期待に応えたい、その先の世界が見たいという思いから、受験勉強に取り組んだのがきっかけでした。

2 技術士としての仕事

入社後は電気設備現場代理人を担当していましたが、その後いくつかの部署を異動し現在は営業を担当しています。再生可能エネルギー設備の導入、電気設備の省エネルギー、新規事業への挑戦などを通じ、快適な環境作りにつながる技術営業を担当しています。所属するソリューション営業部は約20名の体制で、技術士も多く在籍する環境の中で、尊敬する先輩に囲まれてのびのびと働いています。年齢性別を問わず各分野の技術士が揃ったチームですので、多様な視点で案件に取り組む事ができます。

技術士は公衆の利益を最優先することが、倫理綱領に定められています。女性技術士として、女性や子供・高齢者の生活や考え方を理解し寄り添えることが強みだと考えています。今後も身につけた技術を分かりやすい形で暮らしに反映できるよう貢献していきたいと考えています。



3 技術士になって良かったこと



名刺交換の際、名刺に技術士の記載があることで、単なる御用聞きではなく技術の分かる営業担当者という安心感をお客さまに持ってもらえます。そのことがお客さまとのより深い技術的な会話につながり、ニーズを的確に把握することが可能となります。そのスキルは営業担当としてお客さまと現場サイドをきちんと繋ぐために欠かせないと考えています。技術士の受験勉強を通じて技術知識を自身の言葉でまとめ・語り・伝える練習をしたことがそのスキルにつながったと思います。

4 ワーク・ライフ・バランスについて

現在は夫と二人暮らしです。平日はお互い仕事に夢中ですが、休日のはんびりと一緒に料理をするのが楽しみです。しかし、30歳の頃、仕事と家庭の両立にとっても悩みました。ここで仕事のペースを落としたら会社での居場所がなくなるのではと不安で視野が狭くなり、家族を大切にしきれずに迷惑をかけてしまいました。その反省をもとに「仕事6 家庭4」という自分なりの最適バランスを意識して保っています。休日は趣味や夫婦の時間を大事にし、これからもしっかりと選んだ道を進んでいくことが、家族へ私が見せる姿だと思います。今の時代、男女ともに生き方は多種多様です。家庭、キャリア、余暇、どれに重きを置いても尊重される世の中になればと思います。

5 技術士会に入会して良かったこと

参加することで、日常では出会うことのない異分野の方たちや情報に巡り合えると思います。技術士会各本部ではボランティアによる社会貢献も行っています。関わり方次第でさまざまな経験のきっかけが得られるのではないのでしょうか。

6 技術士を目指す方へ

一定規模以上の現場への資格者配置が必須となり、経験だけではものが言えない時代が来ました。また、資格がないと経験できる業務の幅も狭まってしまいます。年齢を重ねないと得られない経験もありますが、資格はこつこつやれば若いうちに取得することも可能です。技術士合格のために多くの勉強時間が必要ですが、1日当たりになると数時間なので、それならできそうな気がします。私は技術士を取得することで、現在のチームに加わるチャンスをもらいました。これをまた新たなスタートと考え、世界を広げていきたいです。

技術士だから持つことのできる自信

前田 秀一

技術士（化学部門/総合技術監理部門）

東海大学

企業の研究職歴 20 年、大学の教員歴 10 年



1 技術士を目指したきっかけ

私が技術士を知り、そして目指したきっかけは、本屋での立ち読みでした。実は技術士になりたいというよりは、技術士試験を受けてみたいというのが先でした。たまたま手に取った技術士の過去問集に、「あなたが考えるグリーンケミストリーの 10 か条を述べよ」という設問がありました。「あなたが考える」という部分に、この国家試験の魅力を感じました。上記の過去問集を手にしたのは 3 月でしたが、4 月には願書を出して、8 月には筆記試験を受験、12 月には口頭試験を受けていました。受け身の試験とは思わなかったので、試験勉強は大変ではありましたが、つらいとは感じませんでした。そして、過去問集に出会ってちょうど一年後に技術士になっていました（当時は実務経験 7 年以上で第一次試験を免除されていました）。

2 技術士としての仕事

私自身は、企業の研究員として 20 年（海外留学 2 年を含む）、大学の教員として 10 年、技術に関わる仕事をしてきました。企業の研究員時代も技術士資格を有していたおかげで、わずかばかりの副収入がありました。守秘義務がありますのでここでは詳述できませんが、自分の小遣い分くらいは稼いでいました。大企業も副業を認めるようになった昨今の社会情勢に鑑みて、技術士資格は、独立しない場合でも、経済面から少しは役に立つことがある資格かと思います。

3 ワーク・ライフ・バランスについて

実は、ワーク・ライフ・バランスということ、あまり考えたことがありません。大学教授というのは、好きな研究で食べているのだから、ストレスとは無縁の職業と思われるかもしれません。しかし、昨今は、少子化にともなう大学間の生き残り競争が激しくなり、

企業と同様に人事、予算など神経をすり減らす業務も増えております。それでも、それなりにやりがいのある仕事のせいか、(家族や友人にも恵まれていることもあり)今は無理にライフをさらに充実させたいという気持ちにはなりません。ただ、こういった『ワーク=趣味』みたいな人間は、職場を(解雇であれ定年であれ)退職したら居場所がなくなるとよく言われます。



研究室のメンバーと

4 技術士になって良かったこと

私自身が技術士になってよかったと思うことは、退職によって居場所がなくなるといふ不安が少ないことです。もちろん大変な覚悟が必要ですが、定年のない技術士であれば、何歳になっても『ワーク=趣味』のスタイルを追いかけて続けることができるように思います。(妄想かもしれませんが)何があっても生きていくという自信を持てるようになったこと、これが技術士になって一番よかったことです。

5 技術士会に入会して良かったこと

私は、これまで部会は化学部会に所属し、青年委員会、報酬委員会、広報戦略特別委員会、広報委員会などで委員を務めさせていただきました。技術士会に入会して良かったことは、こういった委員会活動を通して様々な方々と巡り合えたことに集約されます。現在は、科学技術振興支援委員会の委員長を仰



技術士と理工系学生による
パネルディスカッション

せつかっています。苦勞がないわけではありませんが、委員の方々の活躍に支えられているお蔭で委員会活動を楽しんでいると感じています。

6 技術士を目指す方へ

宝くじの1等に当たっても今の仕事を続けますか?と聞かれたら、皆さんはどう答えるでしょうか。私の感覚では、技術士のほとんどが、宝くじが当たってもその仕事を続ける、と言うような気がしてなりません。たぶん技術士の多くは能動的に生きているから、どんな仕事でも自分の仕事として続けることができるのだと思います。前向きな姿勢を崩さない技術者であれば、技術士はどこかで必ず出会うことになる資格ではないでしょうか。いつか皆さんと、技術士の世界で交流できることを楽しみにしています。

技術士と私

勝見 百合

技術士（金属部門）

YKK 株式会社ファスニング事業本部 商品開発部

大学院卒業後、YKK（株）に入社。研究開発部門、分析部門に所属後、現在は商品開発業務に従事。技術士は分析部門所属時に取得



1 技術士を目指したきっかけ

私が技術士を目指したきっかけは、部署の異動でした。入社してちょうど2年、所属していた研究部署が部門再編のため、廃止されることになりました。すでに分析部門への異動が決まっており、新規一転新しいことへチャレンジする良い機会でした。分析という新しい業務への取り組みだけでなく、同時期に知った技術士という資格を取得して技術者として成長していきたいと思い、技術士を目指ようになりました。取得を目指す中で分析という分野の技術の深さや面白さ、社内や社外のメンバーとの交流、製造および開発現場のスピード感等を知ることができ、この時期の経験は私にとって重要であり、今のキャリアの礎となっていると感じています。



表面分析研究会の
若手会メンバーと

2 技術士としての仕事

私は一般企業に所属している企業内技術士です。技術士としての仕事＝通常業務であり、取得前後で行っている業務に大きな変化はありません。しかし、技術士である以上、技術士法に従い、自己研鑽や技術者倫理を常に念頭において業務を行っています。昨今ニュースで騒がれているような大きな不祥事を例にとるまでもなく、日々の開発業務における試作結果や業務の進め方などの小さなことでも、大変重要であると考えています。

社外においては、技術士資格の説明会や取得のためのサポート等も行っています。

3 技術士になって良かったこと

技術士になって良かったことは、多方面の分野の方と交流する機会が得られたことです。技術士資格取得前は自分の専門である学会のメンバーがほとんどでしたが、今は業務・部

門・地域を問わず、広い人脈を得ることができました。興味がある分野の最新技術を見ることができる、業務上で大きな壁にぶつかった時にアドバイスを頂ける等、公私に亘って充実しています。

4 ワーク・ライフ・バランスについて

私の平日は仕事以外何もしないと言っても過言でないほど仕事中心のオンモードです。休日は日ごろ溜めた家事や、友人やパートナーとお茶やスポーツ等好きなことをして仕事を一切しないオフモードと、オン・オフを分けています。ワーク・ライフ・バランスと言われると仕事時間を減らして私生活を充実させなければならないイメージがありますが、それは人それぞれ。自分が満足する生活スタイルで良いと思いますし、現在の自分はこの生活スタイルに満足しています。

5 技術士会に入会して良かったこと

技術士会に入会して良かったことは、技術士となって良かったことと同様、様々な業種、部門、地域の方との交流が増えたことです。様々な人と会うことでいろいろな考え方に触れ、技術者として成長できるだけでなく、人として視野が広がっていると感じています。また、同じところにずっといるとマンネリ化してしまいモチベーションを維持することが難しいですが、新しい風に吹かれることで気分が変わり、モチベーションアップにもつながります。勉強会の情報も有用ではありますが、私は技術士会に入会して一番良かったと思っている点は人とのつながりです。



Yes Metals!の
第 100 回記念会合

6 技術士を目指す方へ

技術士試験は決して簡単ではありません。私も実際、二次試験は問題を見る限り受かる気がせず、チャレンジにしり込みしていました。しかし、会社の先輩とパートナーからの「受けてみなよ、もったいない」という言葉とパートナーと一緒に受験したことで、無事に合格しました。私の場合はパートナーが一番の応援者でしたが、身近に技術士を目指す人がいることが心強いです。一緒に目指す人、応援してくれる人がいることでさらに頑張れますので、自分にとって一番心地が良い状況で技術士資格取得に向けて頑張ってください。

技術士はチャレンジ精神の源

古賀 沙織

技術士（資源工学部門）

三菱マテリアル株式会社

修士課程では土木工学を専攻し、入社後は環境・リサイクルに関する新規事業の立上げを担当。現在は、食品廃棄物リサイクル事業に従事



1 技術士を目指したきっかけ

土木工学を専攻していた学生時代、就職担当の教員から「女性が専門職として条件の良い会社に就職するのは男性の何倍もハードルが高い」という話を散々聞かされました。就職活動をする上で何か武器になるものを身につけよう、と考えたのが技術士を目指したきっかけでした。学部4年生のときに第一次試験に合格し、大学院に進みました。

技術系総合職として就職してからは、技術士になりたいという思いがますます強くなりました。私の仕事の分野では女性のエンジニアは非常に珍しく、一緒に仕事をする社外の方々からは先入観からか事務系だと思われ、技術色の強い話になかなか踏み込めないことが多々ありました。技術士資格を取得すれば堂々と名刺に技術士であることを明記できる！と考えた私は、30歳までに第二次試験に合格したいということを上司に告げ、受験に必要な実務経験となる仕事を積極的に担当させてもらいました。その結果、入社3年目の27歳のときに技術士となることができました。

2 技術士としての仕事

新しい事業を立上げる部署に所属しているため、プロセス設計や機器の選定といった技術的なことだけでなく、工場建設のための土地探しから、行政との協議、予算やスケジュールの管理など、幅広い業務に従事してきました。

現在は、スーパーマーケットで発生する賞味期限切れの食品やレストランの食べ残し等の食品廃棄物をリサイクルし、得られるエネルギーで発電を行う事業を担当しています。特に力を入れているのは、様々な関係者との「合意形



新設した工場にて

成」です。事業の意義や採用した技術について、専門分野以外の人にも理解してもらえるよう、どんな場面においても技術士としての自覚を持ち、分かりやすく丁寧な文章表現や会話を心がけています。

3 技術士になって良かったこと

進学、就職、社会人になってからのステップアップを技術士という資格が支えてくれたように思います。今まで以上に女性の活躍が期待される世の中ですが、エンジニアの世界ではまだまだ女性は少なく、それ故に働きづらさを感じることもあります。しかし、そういった状況でこそ、技術士という資格が性別や年齢を越えた自信となり、私のチャレンジ精神の源になっています。

4 ワーク・ライフ・バランスについて

独身時代は、自分が納得できるまで、残業も休日出勤も厭わず仕事をしていましたが、2児の母となった今は、残業どころか時短勤務でなくては保育園の送迎に間に合いません。とにかく時間が足りないと感じる日々ですので、仕事だけでなく、育児や家事においても、短時間で効率的に成果を上げることを常に意識しています。ただし、何事も安全第一。焦りを感じたときには深呼吸することにしています。



出勤前に子供たちと

5 技術士会に入会して良かったこと

男女共同参画推進委員会が開催する「技術サロン」に参加し、これまでの経験を活かして後輩の相談に乗ったり、キャリア設計について話をしたりしています。会社の枠を越えて女性技術者と交流を持てるのが単純に嬉しく、普段はあまり意識しない自分のキャリアについても考える機会になっています。子育てが一段落したら、もっと多くの活動に参加したいと考えています。

6 技術士を目指す方へ

「仕事が忙しくて勉強をする時間を確保できない」という話を聞く機会が多くあります。振り返ってみると、机の上で勉強して得た知識よりも、業務に従事する中で四苦八苦した経験が第二次試験合格のカギになったと感じます。ご自身の経験に自信を持って、資格取得にチャレンジしてほしいと思います。

技術士で得た信頼と絆

飯島 玲子

技術士（建設部門/総合技術監理部門）

パシフィックコンサルタンツ株式会社

ランドスケープ、都市計画、地域福祉等のコンサルティング業務に
20年余り従事後、本社に異動し D&I 経営の推進を担当



1 技術士を目指したきっかけ

きっかけの1つ目は、一刻も早く職場に「居場所」を創りたかったことです。約20年前の受験当時、出産後も働き続けている女性の技術系社員は見当たらず、このまま働き続けられるのだろうかと不安で一杯でした。名刺に「技術士」と書くことで、社外の方との信頼関係を早く構築することができるのでは、とも考えました。

2つ目は、技術士の勉強を通じて都市計画の基礎知識を一気に詰め込むことができれば、一石二鳥と考えたことです。ちょうどランドスケープから法定都市計画を扱う部署に異動した時期で、知らないことばかりで困っていたのです。

2 技術士としての仕事

都市計画のコンサルティングをするには、自身がどのような社会を目指すのかという考えを持っていることが必要だと考え、日々、通勤の道すがら自分に問いかけていました。そして、「誰もがふつうに暮らせるまちをつくりたい」という想いにたどり着きました。災害や事故におびえずに暮らせる、身体が不自由な方が気持ちよく出掛けられる、子どもたちが安心して遊べる、そんな「ふつう」のまちをつくりたいと考えたのです。

その後、建設コンサルタントとしては珍しい子育て支援、障害者就労支援、男女共同参画等の業務を開拓し、さらに、技術士資格を活かして国のバリアフリー施策の推進に貢献できたのは、この想いがベースにあったからだと思います。

3 技術士になって良かったこと

3人の子を育てながら働き続ける上で、技術士の資格は自分自身の心のよりどころになりました。また、技術士の受験を機に、都市計画の基礎知識を学ぶだけでなく、まちや社会をどうしていきたいのか、という自分の考え方を整理することもできました。

仕事上では、技術士資格を管理技術者の要件とする業務に「やります」と手を挙げてチャレンジすることができ、それが嬉しく、またキャリア形成にも役立ちました。

4 ワーク・ライフ・バランスについて

子どもが小さいうちは、自分だけ早めに帰宅することが心苦しく、また、前線から離脱したようにも感じて落ち込み、会社の廊下をうつむいて歩くことも少なくありませんでした。でも、子どもは可愛くて、気づけば3人に。夫は保育園の送迎、買い物、食事づくりなど、私以上に家事・育児を担ってくれました。子どもの具合が悪くなると、私が思案する間もなく「俺、会社休むよ」と先に言われるのが嬉しいような悔しいようなことも多くありました。また、保育園はもちろん、ベビーシッター、宅配、お掃除サービスなど、頼れるところは全部頼り、多少の残業時間をゲットして「離脱感」を和らげていきました。

5 技術士会に入会して良かったこと

2013年にD&I（ダイバーシティ&インクルージョン）推進室に異動し、技術職からは離れたものの、それがきっかけで技術士会の活動に参加するようになりました。土木学会の活動にも長く参加していますが、子育て中の女性技術者との出会いもあり、不安や悩みを打ち明けあい、励まし合うことでエネルギーをたくさんもらっています。また、多分野の技術士から、仕事の考え方や進め方を学ぶことができ、大きな刺激を受けています。困ったときはいつも助けてくださる皆さんとの出会いは、何ものにも代え難い財産で、これ

からもずっと大切にしたいと考えています。



土木学会の活動で「D&Iカフェ」を開催中の様子



会社の活動で「D&I フォーラム」を開催し現場の活動を共有

6 技術士を目指す方へ

私は技術士になることで、学ぶ機会や社内外の信頼を得ることができ、さらに多くの絆もいただきました。子どもたちも成長し、いまや母の駄じゃれ仲間兼よき相談相手です。

技術士取得を通じて、「こんな社会にしたい」を実現していきましょう。あなたにしか拓（ひら）けない未来がきっとあります。

～さあ、一步前へ～

榎並 万里子

技術士（建設部門）

中央大学商学部会計学科卒業後、エプソン情報科学専門学校勤務、
公認会計士川北博事務所勤務、有限会社自然環境設計勤務を経て、
現在は一般財団法人みなと総合研究財団勤務



1 技術士を目指したきっかけ

私が技術士を目指したきっかけは、現在勤務している財団（国土交通省港湾局に係わる財団）に就職したことにあります。女性にも調査業務をらせてみようという試みの第一期生です。調査業務で現場の経験を重ねる中で、業務全体の指揮を執るためには技術士資格が必要であると感じ、業務に関連する建設部門・建設環境を取得しました。

2 技術士としての仕事

私は財団の一員として、港に関連する様々な業務を担当しています。ここ数年は、藻場（もば）造成に注力してきました。近年は地球温暖化に伴う海水温の上昇や、海藻を食べる食害生物の被害が大きく、藻場の造成や維持は簡単ではありませんが、業務を通じて、少しでも海域環境の改善や創造に寄与したいと考えています。

3 技術士になって良かったこと

技術士に合格したことを契機に、財団から研究費を得て、海藻育成に関する自主研究をしています。自然の力は強大で、思うようにならないことも多いですが、少しでも前進しようと努力できること自体に喜びを感じます。

また、財団職員として様々な分野の方と交流する機会があります。折々に、活躍している女性の方や、資格取得に向けて頑張っている方にお会いすると嬉しい気持ちになります。

私は事務系からの挑戦でした。第一次試験から受験し、3年の勉強で第二次試験に合格しました。ちょうど50歳での合格でしたので感慨深いものがありました。「人生100年」という時代ですので、さらに多様性が受容される社会になっていくことを願っています。



海藻育成の自主研究
（高知県須崎市）

4 ワーク・ライフ・バランスについて

趣味はゴルフと俳句です（下手の横好きです）。

現在は出張や休日出勤が多く、ワーク・ライフ・バランスを取ることが難しい状況です。そこで、「ワーク・わくわく・バランス」に切り替えて、リフレッシュしています。

自然が豊かな地域へ出張する際は、その土地の風情を盛り込んだ俳句をつくる楽しみがあります。「五・七・五」の調べに、伝えたい内容をまとめる作業は、試験勉強にも良い影響があったと思います。また、出張で気に入った場所は、夫とゴルフを兼ねたプライベート旅行で再訪して、「わくわく」を楽しんでいます。

私は、仕事でも趣味でも体力が大切だと思います。

長野県諏訪市で育ち、幼い頃から諏訪湖でスケートをし、高校時代はボート部（端艇部）で体を鍛えてきました。社会人になってからも、「心・技・体」のうち、「底なしの体力」があったおかげで、どんな状況も前向きにとらえ、様々な挑戦ができたのだと思います。



長野県諏訪清陵高等学校での
筋肉時代

5 技術士会に入会して良かったこと

日本技術士会には、技術士第二次試験合格後、すぐに入会しました。事務系（文系）も技術系（理系）も経験してきましたが、さらに、広い視野で継続して自己研鑽するために入会しました。技術士C P D行事に参加したり、ホームページや月刊「技術士」等で、活躍する他の方のタイムリーな情報を拝見したりすると、入会して良かったと感じています。

6 技術士を目指す方へ

技術士に合格するための第一歩は申込書を提出すること、二歩目は試験会場に行って試験を受けることだと、私は思います。勉強不足や体調が万全でなくても受験し、どんなチャンスも貪欲につかんでいく気持ちが大切です。一步前へ、踏み出してみましょう。

技術士第一次試験は、効率的に勉強すると良いと考えます。私は過去問題を繰り返し解き、自然科学系の疑問点は専門書等で情報収集し、技術士ハンドブックも活用しました。

技術士第二次試験は、勉強方法や勉強時間の確保について戦略的に計画することが重要と考えます。私は独学派で、普段は早朝に勉強しました。また、職場や業務等でお会いする技術士の方々から、いろいろなアドバイスをいただき、大変参考になりました。

困難な時も常に前向きな気持ちを保ち、必ずゴールして欲しいと心から願っています。

「資格」はきっと貴方を助けてくれる



真田 純子

技術士（建設部門/環境部門/総合技術監理部門）

パシフィックコンサルタンツ株式会社

1992年東京農工大学農学部環境保護学科卒業、同年同社入社後、環境アセスメント制度の検討を中心にコンサルタント業務に従事

1 技術士を目指したきっかけ

私が属する建設コンサルタント業界では、昔から「技術士をとって一人前」という風潮がある。これは、専門分野の技術士の配置が、業務を受注する上での要件となることが多いことによる。縁あって入社4年目の秋に結婚し、翌年長女を出産したとき、私はまだ27歳で、当時の制度では技術士の受験資格を有していなかった。20代後半、同期は多くの業務を担当し、着実にステップアップをしていく中、産後7ヶ月で復帰した私は、頻繁に熱を出す長女に翻弄され、現場や打合せに行くこともままならない状況であった。資格取得の勉強は、通勤時間や自宅でできる。とにかかにも、社内外で一人前の技術者であると認めてもらいたくて、私は技術士を目指した。

2 技術士としての仕事

取得部門・分野に記載したとおり、私は建設環境や環境アセスメントに携わってきた。総合技術監理部門の資格取得後は、管理技術者として業務に携わることも多くなった。複数のコンサルタント会社の技術者をメンバーとするワーキングや勉強会の委員長を頼まれても、臆せず引き受けられるのは、やはり総合技術監理部門を取得していることが大きい。

3 技術士になって良かったこと

私の若いときは女性技術者が少なかったため、技術士を名乗ることで相手からの信用度合が大きく変わった。名刺をみた担当者の驚いた表情、その後の打合せでの一目置かれた扱い。20年前のことだが、今でも鮮明に記憶している。技術者の国家資格として多数の部門を有する技術士は、自分の技術者としての技量を証明してくれるものとして大変有効であった。また、技術士倫理要綱に「公衆の利益の優先」と「持続可能性の確保」が謳われていることは、私が建設コンサルタントとして働いていく上での道標となっている。

4 ワーク・ライフ・バランスについて

10月16日は「ボスの日」であることをご存じだろうか。このボスの日にあわせて、2017年に「働き方改革—ボスジレンマ」に関するNHK首都圏ネットワークの取材に応じたことがある。長女・次女二人の育児と、建設コンサルタントの仕事を両立さ



環境カウンセラーとして活動中の筆者

せるのは至難の業だった。部下や同僚には自分のような辛い思いをさせたくない。ついついフォローに入ることが多くなる。一方で、最近は父が体調を崩しがちであり、「ボス」であることが恨めしいことも増えてきた。令和は、多くの人が育児や介護、中には病気と戦いながら就労する時代になるだろう。事情を抱えた人を守ることに捉われると組織は疲弊する。自身の経験からも、「柔軟な働き方ができる職場」、これが大切だと考えている。

5 技術士会に入会して良かったこと

技術士には、全部で21の部門がある。私は技術士会男女共同参画推進委員会の委員を2期務めたが、それまで関わりのあった環境や土木分野とは全く違った分野の方々と交流することで、いわゆる土木の「男社会」の考え方にどっぷり使っている自分を見つめなおすことができた。技術士会の良いところは、幅広い分野で活躍している技術者に、苦勞することなく会えることだと、強く思う。

6 技術士を目指す方へ

技術士取得と第二子の妊娠・出産の二兎を追って3年ほど苦しんだ経験からお伝えしたいことは、「技術士の取得」は自分自身が頑張ればよいことで、さして大変なことではない、ということだ。妊娠・出産は自分一人でコントロールできるわけではない。それに比べれば、資格取得のための勉強は単純だ。頑張れば、必ず報われる。

仕事が面白くなる時期が妊娠・出産の適齢期と重なりがちだ。神さまは気まぐれなところがあり、こちらの望むように人生を進めさせてくれないことがある。だからこそ、自分一人が頑張ればできる技術士取得は、受けると決めたら受かるまで、準備を進めて合格してほしいと思う。

「自分一人が頑張ればよいことは、さして大変なことではない」これが、二人の娘を育てながら、27年働き続けてきた私から、皆さんに送る言葉だ。

技術士になったつもりで考えよう

高橋 健一

技術士（建設部門/総合技術監理部門）、一級土木施工管理技士

1987年 日本大学理工学部卒業、地方自治体勤務

2009年 日本技術士会 修習技術者支援実行委員会副委員長

2015年 日本技術士会 IPD研究会（初期技術者教育を研究する会）



1 技術士を目指したきっかけ

スゴイ！これが技術士なのか!!と思える人との出会いがきっかけです。ある大手建設会社の現場代理人さんが、当時道路の維持管理を担当していた私のところに来られました。

補修工事の完了したトンネルについて、「こんな補修を施工したので、今後こんなふうにメンテしてほしい、科学的なデータはこれです」と非常にわかりやすく語ってくれました。

「良いモノを共に造ろう」という気概が感じられました。その方の名刺にあったのが「技術士」。技術士と言うのはこんなに素晴らしい人のことなのか、と感動したことが資格取得のきっかけになっています。

2 技術士としての仕事

公益のために、自分の専門知識を応用して技術的な課題解決をするのが「技術士」だと私は思います。

かつて、河川にかかる橋梁の整備担当をしていたとき、組織の意向か公益かで悩んだことがあります。散々葛藤した結果、市民のためになる技術的な具体策を示すことができました。単純に良い悪いではなく、公益のために技術的最善策を示すのが、技術士に相応しい行動だと思っています。

3 技術士になって良かったこと

組織の内外において信頼性が厚くなったと感じられることです。

組織内部では、工事の検査などで指摘を受けた所管から、「コンクリート構造物の施工状況について検証してくれないか？」などと声がかかるようになりました。

組織外部では、建設コンサルタントの多くの技術者さんとのコミュニケーションがとりやすくなりました。相手も技術士だからでしょうか。

4 ワーク・ライフ・バランスについて

私の生活で一番多くの時間を費やすのが、重度障害のある娘の介護です。

かつては、自分を過信して仕事も遊びも介護も、と無理を重ねました。結果、体を壊してみてもその考えは間違いだと気づき、徐々に考えを変えていく努力を始めています。

人に与えられた一日は平等に 24 時間。優先順位をつけて取捨選択、使えるものは使う、頼れるものには頼むということを学んでいる最中です。幸せなことに、娘は風呂介護の回数が増え、訪問学級も利用しています。私自身も職場の働き方改革制度を活用し、夏時間勤務で自分の時間を確保しています。



休日に娘の歩行訓練をする筆者

5 技術士会に入会して良かったこと

「出会いの広がり」に尽きると思います。ただの出会いではありません。自身が置かれた状況によると思いますが、科学技術に長け、論理的な会話ができる人たちに、私はなかなか出会いませんでした。技術士会に入会し、実際に会合などに出席してみると、出会いのすばらしさを実感できました。

実感した回を重ねていくと、かつての見識の狭かった自分から、技術士としての自分に成長してきているように感じています。

6 技術士を目指す方へ



四国本部で講演する筆者

「技術士になっただけで考えよう」

この言葉を技術士会のセミナーやボランティアでの受験相談の場で語っています。業務の中で、技術士だったらどう感じ、考え、行動するのか。技術士になっただけで対応して、もし足りないものがあれば補ってあげたい、と私は考えています。実際にそのように考えて行動しながら、私は技術士になりました。

上記は私の事例ですが、技術士会などで様々な部門の技術士と出会い、ほかの方の事例も見聞きしてください。ご自身の気持ちにヒットするような出会いがあるかもしれません。思うだけでは前に進まないのです、ぜひ一歩前に出てみてご自身で確かめてください。

技術士で得たつながり

多田 照代

技術士（環境部門/建設部門/農業部門）

株式会社 北陸環境科学研究所

奈良女子大学理学部生物学科卒業後、地質調査会社を経て現職



1 技術士を目指したきっかけ

自然が好きで、環境に係る仕事がしたいと大学卒業後、地元での就職を希望しました。ただ、就職氷河期の中、福井県という小さな県では望んでいた仕事は見つけられず、地質調査を主要業務としながらも、業務の一部で環境調査を行っていた会社にお世話になることになり、建設コンサルタント関係の様々な業務を経験させてもらいました。



水路での環境調査の様子

その後、環境の分析・調査を主体として行う現在の会社へ転職することになりました。転職する少し前に7年間の実務経験を得て、今後もずっと技術者として働いていきたいという気持ちもあり、技術士試験に挑戦することにしました。技術士という資格を得ることで、技術者としてのキャリアアップにつながればと、その時は軽い考えでいたように思います。

2 技術士としての仕事

実際に技術士となったのは、転職後すぐのことでした。その後、技術士の看板を背負って仕事をすることになりましたが、今思えば自分の能力以上の仕事を任せられ、四苦八苦しました。試験には合格したものの、技術士としてはまだまだ未熟で、いろいろな失敗や、周囲に迷惑をかけながら、試験に受かってからが大事なのだとすることを痛感しました。日々の仕事は実務の積み重ねと自己研鑽によって培われると、現在は強く感じています。

3 技術士になって良かったこと

技術士になって、様々な人と交流し、つながりを得られたことが、今自分にとって大きな財産となっていると感じます。会社の中にいると、仕事に関係のない分野の方と接する機会は少ないのですが、技術士会主催の研修会では、様々な分野の方とお話をする機会が得られ、刺激を受けることが多いです。



青年技術士委員会の見学会

4 ワーク・ライフ・バランスについて

福井県は共働き率が全国1位の県で、妻も働くのが当然という風潮があります。しかし、どの会社でも女性が働きやすい制度の受け皿が充実しているかということ、そうでもなく、結果的に女性の負担が大きくなってしまっている場合が多いように思います。

私自身は、夫と義母の3人暮らしという比較的気楽な環境にいますが、それでも家事の負担を重く感じることもあり、仕事とのバランスをどうとれば良いか日々模索中です。できるだけ、自分も家族もあまり我慢しない生活を続けることができればと思っています。

5 技術士会に入会して良かったこと

技術士に合格したときに、県内ではまだ珍しかった女性の合格者ということで、色々な人から声をかけてもらいました。全国大会や、北陸本部の行事では、様々な技術士と交流する中で、自分と同年代の技術士の方々と交流する機会も多く、とても楽しい思いをさせていただいています。

6 技術士を目指す方へ

地方でも女性の技術士は徐々に増えてきていますが、それでも子育てや親の介護などといった家庭の事情で、仕事から離れてしまう方も多いです。北陸では年に一度女性技術士同士での交流を行っていますが、女性ならではの悩みなど、技術以外のことでいろいろ考える機会を得ると同時に、同じ立場で頑張っている方と知り合うことで、心強い気持ちにもなれています。

これから、技術士を目指す方も、長いキャリアの中で、辛い時、悩んだ時は近くにいる先輩技術士と積極的に交流すると、何かヒントが得られるのではと思います。

「技術士」は、前を向き、ミライをつくる。

永井 登茂美

技術士（建設部門/総合技術監理部門）

日本データサービス株式会社

北海道大学工学部建築工学科を卒業し、
ハウスメーカー、建築設計事務所を経て現職



1 技術士を目指したきっかけ

私は、大学で建築を学び、卒業後は建築関係の会社に勤めました。しかし、男女で異なる扱いを受けて将来に失望し、一度仕事をやめました。その後、違う分野の仕事を経験してみようと、会社名からのイメージで違う業界だと思い応募したところ、なんと、建設コンサルタントの会社でした。この業界からは逃れられない。そこで、技術者として生きていくという覚悟を決め、その意志を周りに示すため、一級建築士の資格を取得、出産を経て、技術士の資格を取得しました。出産は女性の人生にとって大きな節目になります。31歳、私は「技術士」となり、出産後も技術者として仕事を続けていく人生を選びました。

2 技術士としての仕事

私は、都市、住まい、建築、地域活性化などに関わる調査検討、計画づくりなどに携わっています。調査結果をまとめ、施策を検討し、計画を作る仕事の中で、『計画したものを実現するまでお手伝いしたい』『自らも実現に向けて動かなければ』、最近では、そんな思いを強く持つようになりました。そのため、近年では、地域住民をはじめとした多くの関係者との情報共有、意見交換を通じて具体的な地域の活動を一緒に考え、自ら実践することに重点を置いています。



3 技術士になって良かったこと

私の仕事は、都市・地域計画の分野以外に、福祉、教育、環境、経済など多くの関連分野について理解し、総合的に判断する能力が求められるため、建設部門に加え、総合技術監理部門の資格を取得しました。比較的若い年齢で取得したため、早くから責任ある仕事、難しい仕事などを経験でき、管理職として人材育成やマネジメントについても携わること

ができました。技術士の資格取得は、技術者としての人生に大きなメリットがありました。

4 ワーク・ライフ・バランスについて

私にとって最も大切なものは家族です。共働きの人生を選び、ずっと時間に追われて休憩や自分の時間があまりとれていないのが課題ですが、子ども達の笑顔や頑張る姿に励まされ、なんとかやってきました。最近、主人が単身赴任、両親も近隣から遠方へ引



越すなど、まだまだ楽はできません。「どうやって仕事と家庭を両立していますか？」とよく聞かれますが、両立はできません。毎日、今何を優先すべきか、やらなくてよいことは何か、家族の笑顔と地域の皆様の笑顔を求めて試行錯誤しています。

今、「働き方」の転換期を迎えているのではないのでしょうか。建設業界は忙しい業界の1つですが、国民の生活に寄り添って技術を活用していくためには、自らの人生・生活を大事にする必要があると思います。ワーク・ライフ・バランスではなく、ワーク in ライフ、豊かな人生・生活をベースに仕事をどう位置づけるかが重要だと思っています。

5 技術士会に入会して良かったこと

技術士会での活動は、私の成長、仕事の質向上のためにとっても有意義なものになっています。技術士になった直後から、北海道本部の「青年技術士交流委員会（青技交）」の幹事となり、たくさんの先輩技術士、全国の若手技術士と出会い、導かれて、一気に人脈・視野が広がりました。特に、平成 25～26年に青技交の委員長を務めたことは、貴重な経験となりました。今年、北海道本部の青技交は、設立 30周年の節目の年となり、これをもって青技交を卒業します。これからは、「社会活動委員会」「技術者のミライ研究委員会」などを軸に、北海道本部をより活性化すべく、より積極的に活動していきたいと思っています。

6 技術士を目指す方へ

最近、働き方について考える際に、「残業しないなんて無理」という言葉を耳にしますが、自分が望む働き方を実現するために、自らできることはたくさんあると思います。すぐに大きく変えられなくても、今より良くすることはできます。自ら環境を変える意味で、「技術士」の資格を取得することは有効です。特に、女性は、少ないからこそ目立つ、評価される、自信がつく。私は、その恩恵を受け、これまで充実した毎日を送っています。

仕事との縁・人との縁

花岡 史恵

技術士（建設部門）

株式会社 エフ設計コンサルタント 理事

国文科卒、日本技術士会四国本部幹事、

同男女共同参画推進小委員長

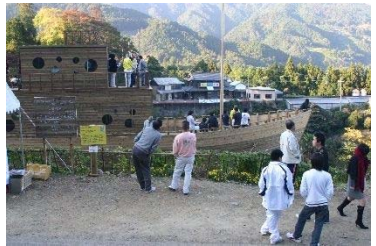


1 技術士を目指したきっかけ

私は、もともと文系でしたが、縁あって測量会社に入社し、トレースの仕事をしました。当時のトレースは、手書きの図面をトレーシングペーパーに清書するという、今では考えられないような作業です。この経験を通じて図面の種類や内容についての基礎を学びました。その後、建設コンサルタント会社に転職し、設計の仕事をするようになりました。とにかく仕事がおもしろかったことと、設計部内の人間関係が良好だったことが、私をこの道に導いてくれました。私は、ここで、社会基盤整備全般の計画から設計を経験し、その中で最も自分らしい仕事ができる公園や景観を含む地域計画に特化しようと、1996年に一級造園施工管理技士、2000年に技術士建設部門（都市及び地方計画）の資格を取得しました。

2 技術士としての仕事

私の技術士としての思い出深い仕事は、企画から実施まで2003年から2007年の5年間に渡り携わった「上勝アートプロジェクト～里山の彩生～」です。このプロジェクトは、徳島県上勝町という四国



「射手座造船所」作家：日比野克彦氏

で一番小さい町におけるアートを介した地域再生事業で、文化庁事業の国民文化祭（第22回国民文化祭とくしま2007）を有効活用し、地域住民と、活動支援する都市住民、行政、芸術作家を含む各種専門家の協働により進められました。この活動は、人口2,000人の町で、約半年間に延べ3,000人が参加して作家とアート制作を行い、その後も地域住民により、作品管理や作品を活用した活動が続けられています。

3 技術士になって良かったこと

私が技術士になった後、以前にお世話になった行政職員と再会することがありました。その人から「貴女の描いた図面は、今でも私の仕事の中で一番きれいな図面です」と言われました。この仕事は、ある川の災害復旧の設計で、当時、「美しい山河を守る災害復旧基本方針」が策定されたときであり、それにのっとなって、地元産石材を用いて設計しました。私は、土木図面に色付けすることなどほとんどなかった時代に、淡いマーカーで色づけしたものを協議に持参しました。今では、積まれた石が元からそこにあったかのようにその場になじんでおり、自分の描いた設計図面が、たくさんの人の力を得て、被災場所を修復し、よりよい使い方をされていることに喜びを感じています。

4 ワーク・ライフ・バランスについて

子供たちが成人した後、愛犬を迎えてから、夫とドッグカフェやワンコと泊まれる宿を探して出かけるようになりました。また、短歌の同人誌に短歌やエッセイを投稿したり、日本舞踊を習ったりして、頭と身体を使うことで、心身共にリフレッシュしています。



5 技術士会に入会して良かったこと

技術士会に入会して良かったことは、CPDや講演会等で新しい学びの場が得られることや新たな人とのつながりを得ることができ、日々の研鑽の場としておいに役立っていることです。また、四国本部役員として後進の育成等に関われることにも感謝しています。

6 技術士を目指す方へ

私の尊敬する人が、若者に贈る言葉として『『バイキンマン』になれ』と言われたことがありました。「アンパンマン」ではなく、「バイキンマン」になれと言われた理由は、

- ①おいしいものや楽しいものを見つけるとすぐに首を突っ込む【好奇心を持つ】
- ②アンパンマンのように飛べないから円盤や機械を作って対抗する【創意工夫をしろ】
- ③大好きなドキンちゃんに冷たくされても気に入られようと努力する【無償の愛を貫け】

この3つの教えは、とても大事なことだと思っています。私は、これにあと2つ付け加えて皆さんへのメッセージにしたいと思います。

- ④主役でなくても、なくてはならないキャラクターを目指す【名脇役になれ】
- ⑤やられてもしぶとく何度でも工夫して対抗する【自分の力を信じる】

技術者として活躍するために

水出 佳奈

技術士（建設部門/総合技術監理部門）

株式会社 福山コンサルタント

大学院修了（土木系）、入社 14 年目（うち産休育休 1 年）



1 技術士を目指したきっかけ

技術士という資格を知ったのは、学生の頃でした。技術士に詳しく積極的な先生がいたお陰だと思っています。詳細・実態はよく分かりませんでした。特に建設コンサルタントで働くには技術士という資格があった方がよいという話でした。当時は建設コンサルタントやゼネコンの職員、公務員のいずれになりたいかという考えもまったくありませんでしたが、大学院生の時に、技術士第一次試験を受けました。1 年目は不合格、2 年目に合格できました。就職後、学生の時に第一次試験に合格していたことがものすごく良かったことが分かりました。もし、JABEE 認定のない場合は、学生のうちに頑張って第一次試験に挑戦してみることをお勧めします。

建設コンサルタントでは、仕事を受注する際に「技術士資格」が優位に働きます。技術士資格を持っていないとプロジェクトのリーダー（管理技術者）となる要件を満たさなかったり、国土交通省への登録制度があり会社として誰かが持っていないと受注できない業務もあります。建設コンサルタントとしては取得することが当然の雰囲気であること、自分としてももっと技術力を高め発注者からの信頼を得たいと思ったことから、第二次試験（建設部門・道路）を受けることにしました。

2 技術士になって良かったこと

入社以来、東北地方の道路交通計画に携わっており、主に国土交通省発注の業務を担当しています。技術士資格を取得して良かったことの 1 つは、より高度な業務に重要な立場で関わることができること、もう 1 つは社内や顧客からの信頼を得やすいこと、この 2 点が大きいと感じています。入社して数年は、技術的な思考力や説明力不足で、上司が対応すると納得してもらえるのに自分の対応では納得してもらえない状況が多々あり、無力さと悔しさで落ち込む日々でしたが、激務の中で受験勉強にも並行して時間を割き、社会人

5年目で技術士となることができました。その年から、より高度な業務を担当できたり名刺を渡した際に顧客から「若いのにすごいね！」と声を掛けられたりと、以前より仕事が格段にスムーズに進むようになりました。技術士資格は、できるだけ若いうちに取得すると技術者としてのゴールではなくスタートとして活用できると思いました。

3 ワーク・ライフ・バランスについて

入社7年目に結婚しました。結婚直後に夫が、次に自分が転職し、別居4年間を過ごしました。そして入社12年目、出産し男の子二人の母親になりました。双子の育児は想像以上にハードで、夫も9ヶ月の育児休暇を取りました。こどもが1歳となり1日6時間の週4日勤務で仕事に復帰しましたが、こどもが1歳の頃は体調不良で急に休むことも多く仕事が思い通りにはいかず、2歳の頃は「魔の2歳児」と言われるイヤイヤ期で手を焼きました。こどもが3歳となった現在、『育児の大変さ』より『育児の楽しさ』が上回り、仕事もフルタイムに戻し（出産前と同じとはいきませんが）意欲的に取り組んでいるのではないかと思います。



4 技術士会に入会して良かったこと

技術士会の活動はあまり出来ていませんが、このような機会を頂いて情報発信をできることはありがたいと思っています。技術職で働くこと、女性の少ない職場で働くことなど、若手や女性技術者にとって不安はたくさんあると思います。自分も不安いっぱいでも過ごしてきたからこそ、自分が事例となり後輩に働き続ける姿を見せたいと思っています。

5 技術士を目指す方へ

労働時間規制、育児や介護の支援制度等の整備が進み、世の中の仕事に対する意識も少しずつ変わり、会社としても業界としても働きやすさは十数年前より改善されてきていると実感しています。「働き方改革」「女性活躍」などの言葉が飛び交うこの追い風を活かさない手はありません。自分が活躍しやすい環境を、自分で切り開いていくチャンスだと思います。学生の皆さん、若手技術者の皆さん、これからの大きなビジョンを描いてみてください。資格は、自分を応援し支えてくれるものとなるでしょう。ぜひ、一緒に頑張っていきましょう。

未来からバックキャストで今の自分を見てもよう！

峯岸 律子

技術士（建設部門）

政府職員（中央省庁）

農学系卒、コンサルタント、大学講師を経て入省、現在に至る



1 技術士を目指したきっかけ

きっかけは、職場の上司が、技術士として日本技術士会の活動に積極的に取り組んでいたことです。まずは第一次試験を受験、合格した後は技術士補として登録し、準会員として部会活動や講演会、勉強会に参加しました。その後、結婚、出産、育児休暇を終えて職場復帰後、第二次試験を受験し、技術士として登録しました。この間、育児休暇中に仕事と距離を置くことで、自分のキャリアや業務について振り返ることができました。同時に子育て中でも専門性の高い仕事に関わりたいとの思いが、技術士という資格への憧れ、受験への励みとなったと思っています。

2 技術士としての仕事

現在は、政府職員として常に関係者の話を聞き、対話を重ねながら、環境政策の立案及び実施に従事しています。自治体、民間企業や大学等の研究機関、また、諸外国や国際機関



シンポジウムでの事業の説明

等の様々なステークホルダーとの調整を伴う仕事で、バランスや関わりを理解しながらプロジェクトを推進しています。地球環境問題や頻発する自然災害からの復興など、様々な課題の解決に向け、短期的な取組、社会経済情勢や科学技術のイノベーションを見据えた中長期的な取組のロードマップを描くなど、プロジェクトデザインを考える意味で、技術士であることを活かせる仕事であり、しっかり取り組んでいきたいと思っています。

3 技術士になって良かったこと

私自身は、大学卒業後、環境コンサルタントに就職、技術士資格を取得したにもかかわらず、30代半ばにして、育児と仕事の両立に悩み退職を選んだ経験があります。しかし、技術士であることがご縁で、大学から声をかけていただき、講師として若手技術者の育成

という分野で仕事を続けることができました。数年の後、子供が小学校高学年になったのを機に、中央省庁の実務経験採用を経て、国家公務員の技官として技術者人生の再スタートとなりました。技術士になって良かったことというより、むしろ常に技術士であることを意識するようになったことこそが自身の仕事への思いや倫理観、生き方への道標であり、今の仕事にも通じているように思います。

4 ワーク・ライフ・バランスについて

国会対応や予算要求の時期など仕事が深夜に及ぶこともあり、国際案件や災害対応など、出張も多く、他律的な業務を担う上で、職場の仲間との支え合い、また、家族の理解があってこそ仕事が続けられることに、いつも感謝の気持ちでいます。平日はどうしても仕事中心ですが、土日はしっかり休んで家族と過ごす時間を楽しむことにしています。霞ヶ関でも働き方改革に向けて、様々な取組が動き始め、自分自身もワーク・ライフ・バランスを意識して過ごすようにしています。



国際機関のワークショップ

5 技術士会に入会して良かったこと

しばしば「技術士会に入らなくても、技術士としてやっていけますよね」と質問されることがあります。技術士会の様々な活動を通じた同業種、異業種、異なる技術部門の方々との交流は、自身の視野を広め、技術者としての新たな発見、更には、ひらめきに繋がることもあります。メリットを求めるよりも「技術士」という資格の意義や価値を高めていくこと、次世代につなげていくこと、「技術士制度を支える」ことに関わることで、さらに技術士としての経験を深めることができると思います。

6 技術士を目指す方へ

技術士試験に合格することはゴールではなく、まさに技術士として生きることへのスタートとなります。合格の先にある自分の姿、どうありたいか、「なりたい」自分をバックキャストで考えれば、今の自分を振り返ると、今、何をすべきかいろいろと見えてきます。私自身、子育てが一段落した今、未来の自分を思い描き、今の自分に足りないもの、学ばべきもの、様々なコトが見え、勉強不足を反省する日々です。技術士という資格は、つねに現在進行形であり、私自身も皆さんと同じくチャレンジを継続しているところです。いっしょにがんばりましょう！

技術士という誇りを胸に

高橋 裕二

技術士（農業部門/総合技術監理部門）

株式会社エルビー

理工学研究科 高分子工学専攻、食品会社勤務



1 技術士を目指したきっかけ

会社に入って 10 年が経過した頃、私はとても充実したモノ造りの日々を工場で送っていました。ある意味では、サラリーマンとして安定期に入って心にゆとりのようなものが出てきた頃でした。しかし、会社という枠から外れて自分自身を見つめ直した時、自分には一体何が残るのだろう、と考えるようになっていました。自分の人生はこのまま平々凡々で良いのか、といった悶々とした気持ちもありました。その結果、技術者として何らかの証になるものが欲しいと強く思い始め、本屋で資格ガイドブックをペラペラとめくっていたところ「技術士」を見つけ、その時から勉強の日々がスタートしました。

2 技術士としての仕事

技術士になって変わったことは、自分の仕事に今まで以上の責任感を持つようになったこと、自分の仕事の目標をより高いところに設定するようになったことです。このような変化は、「自分は技術士である」という誇りから自然に沸き起こってきたことであり、誰かに言われてということではありません。「技術士なのにこの程度の仕事しかできないのか」という自分自身への叱咤激励に押し潰されそうな時もありますが、それに負けるようではそもそも技術士の資格に相応しくないのです。そういう意味では、技術士になってからのほうが日々プレッシャーを感じますし、自己研鑽の意識は高まりました。

3 技術士になって良かったこと

私は企業内技術士ですから、自分の技術力をいかに会社に活かすかということは当然考えますが、技術士になって会社という枠ではなく社会という大きい視点で物事を考えるようになりました。会社内の一技術者に留まっていたならば、このような考えは抱かなかったでしょう。技術士は、科学技術に関する高度な知識と応用能力が認められた技術者に与

えられる権威ある国家資格であることを改めて噛み締めています。

4 ワーク・ライフ・バランスについて

私は、食品会社で品質保証部/お客様相談室のリーダーを務めています。お客様からの様々なお意見に最前線で対応する部門ですので、常に緊張感をもってメンバー一同業務にあたっています。お褒めもあればお叱りもありますので、真摯な対応はもちろんのこと、気持ちを上手く切替えることも大切になってきます。ワーク・ライフ・バランスは、単に時間的なことではなく、真の意味で精神面でのメリハリやリラックスが得られているか、ということが問われるのだと思います。自分だけでなくメンバーに対しても、ワーク・ライフ・バランスの実践のために自分は技術士として何ができるか、が現在の悩みです。

5 技術士会に入会して良かったこと



第一次試験に合格して日本技術士会主催の講演会に度々顔を出すようになった時、修習技術者支援実行委員会(現：修習技術者支援委員会)と一緒に活動しないかと声を掛けて頂きました。5年間の活動を通して、技術者としての交友関係が広がり、自分の専門分野以外の方々と話をすることで気づきや刺激を受けました。委員会の中で作り上げた「修習技術者のための修習ガイドブック - 技術士を目指して - 第3版」(日本技術士会ホームページから閲覧可能)は私の宝物です。

6 技術士を目指す方へ

技術士を目指している皆さんに私からアドバイスできるとすれば、自分自身に合った勉強方法を早く見つけて下さい、ということです。年齢、性別、専門分野、キャリア、家庭環境等、各人で異なるのは当然ですから、技術士になるにはこの勉強方法が一番良い、といった全ての人に当てはまる魔法のような方法はあるはずがありません。技術士への道のりに王道はないのです。技術士試験では何度か苦杯も嘗めましたが、落胆はしませんでした。もう少し頑張れば突破できる、と次につながる不合格に思え、山の頂上へ向かって確実に登っている実感もありました。技術士試験は長丁場ですので、一喜一憂しないで平常心を持ち続けることは極めて重要です。険しい道のりではありますが、だからこそチャレンジしたくなるのが技術士という資格だと思います。

技術士効果によるチャンス拡大で、成果発揮の確率アップ

小松 加奈（登録名 望月加奈）

技術士（経営工学部門）

米久株式会社

生物資源科学部卒業。開発部・工場（開発・製造・管理）・商品ユニット・生産管理部の6職種にて勤務、一貫して改善に携わる



1 技術士を目指したきっかけ

私が技術士を目指し始めたのは30歳、主任として一つの工場内で原価管理を担当し、原価低減プロジェクト責任者を務め、私生活では出産を希望していた時です。効率的に業務成果を得るために、先人の英知を体系的に学ぶこと、社外情報網に仲間入りさせて頂くことを目的とし、志しました。また、会社の経営統合、ライフステージの変化等に対応していくために、自己の強みを客観的に示す必要があると考えました。性別や年齢からのバイアスによる仕事の進めにくさも緩和され、よりスピーディーに成果を出せるようになることも期待しました。

2 技術士としての仕事

生産管理部に所属し、全工場の利益分析と経営層への報告、利益向上へ向けた施策の提案と推進、実績チェックと改善の促進を行っています。「改善が継続する組織」を目指して、調査・分析・設計・プレゼンテーションを行い、現在、仕組みを構築するための活動を統括しています。新入社員向け改善研修から管理職へのコスト分析の講師も務めています。



写真1 工場現場で改善の説明

3 技術士になって良かったこと

育児休業中に技術士第二次筆記試験を受験し、その翌月に会社で復職前面談を受けました。その際に技術士受験や経営工学の体系的知識も伝え、それがいかせる部署への配属となりました。復職後に無事合格し、前述の仕事もあわせて任せてもらえるようになりました。お世話になった上司・恩師へ合格報告とお礼を伝え、また社内報に掲載されたことをきっかけに、声を掛けて下さる方や、知恵と方法を教えて頂く機会が増えました。それに

より勇気を頂き、方策も増えました。話しを聞いて頂く時の対応にも変化があり、提案の承認率も上がりました。結果として、成果のスピードと量が増えています。

4 ワーク・ライフ・バランスについて

現在2歳児の子育て中で、フルタイム勤務、月間残業時間は10時間程です。外せない会議や出張、セミナー参加時は、保育園の緊急連絡先と迎えは夫が担っています。夫婦ともに調整できない場合等、両実家にも応援してもらっています。家事育児も夫と共同です。表1へタイムスケジュールを示します。経営工学には、「レイアウト」や「スケジューリング」技術、「公正な1日の仕事量」なる考え方があり、それらも取り入れ省力化することで、余暇と対話を大切にしています。

時間	夫	妻(私)
6:00		起床・朝食
	起床・子供と朝食	アイロン・身支度
7:00	子供の身支度	保育園準備
	洗濯・身支度	
8:00	保育園送り	始業
		:
9:00	始業	:
	:	:
17:00	:	終業
	:	保育園迎え・買い物
18:00	:	食事の支度
	終業	子供と夕食
19:00		子供との憩い
20:00	夕食 掃除	食事の片付け
		子供と入浴
21:00		子供との憩い・寝かし付け
22:00		夫婦の憩い・自由時間
23:00		就寝

表1 夫婦のタイムスケジュール

また、弊社は食肉加工メーカーのため、温めるだけ・野菜を入れるだけなど、簡便調理の自社製品も冷凍庫にストックして、時短と美食の両立に活用しています。

5 技術士会に入会して良かったこと

挫けそうになった時に、皆さんに本当に支えて頂きました。励まし、導き、助言して頂ける環境があります。多くのことに立ち向かい、それでも乗り越え結果を出されてきた、様々な分野・立場の大先輩方と交流できます。また、私は技術士会内経営管理チームの会員でもあり、経営工学部会・男女共同参画・静岡県支部のフォーラム等へも参加しています。最新情報を得る機会や、業務施策の具体的なヒント、他社他業界の情報も得られます。

6 技術士を目指す方へ

理と情のうち、悩みは情の面が多いのではないのでしょうか。情は、人の情も、自分の情も変化していきます。正しい理は、時を経過した後、日の目を見ることもあります。また、理と努力の証明である技術士資格により、情へも変化をもたらすことができます。

仕事も様々な要素の掛け合わせだと考えます。技術士資格は、その中で大きな係数の一つとなりうる、掛け合わせ先も増やすことができると実感しています。たった今、目の前にいる人の評価だけではなく、応援して下さる方がだんだん増えていく、それにより組織、ひいては世の中への貢献度が増していく、そんな力を持った資格だと思えます。

技術のみに頼らない技術士

武井 遼

技術士（経営工学部門）

A D E K A クリーンエイド株式会社（1995 年入社）

工学部 工業化学科専攻

2008 年技術士登録、2010 年中小企業診断士登録



1 技術士を目指したきっかけ

学生時代は自然科学の世界にのめり込み、化学から生物化学の分野に興味を持って学びました。バブルが崩壊した就職難の環境下で、化学品総合メーカーのグループ会社に就職。当初は研究開発に没頭していましたが、何事も技術だけで解決するという考え方に限界を感じ始めていた頃、取引先から技術顧問として来られた技術士の方から、物事を多面的に捉え解決を図る視点を教わり、技術士の世界に興味を持ったのがきっかけです。

上司の後押しもあり、技術士資格を取得することが出来ました。今は、興味の中心は自然科学から人文科学・社会科学に、ライフワークもモノづくりから人財づくりへ変遷してきています。己の限界を知り、技術のみに頼らない技術士としてのあるべき姿を模索中です。



香港工程师学会員との会食

2 技術士としての仕事

経営工学部門は業務に直結する資格ではないため、会社で技術士の肩書を用いて業務を行う機会はほとんどありません。但し、技術士会での活動を通じて得られる知識と経験はどのような業務であっても関わりがあり、その後取得した中小企業診断士の資格と合わせて、現在は関係会社や取引先の事業支援・業務監査などに活かされています。

3 技術士になって良かったこと

企業に勤めているだけではお目にかかることのない、各方面の専門分野で活躍されている方々との交流の機会が、技術士になってから格段に増えました。同じ資格を持つ者同士で人脈が広がるのはもちろんのこと、技術士という資格が持つ信頼性が、多くの方々と巡り合い、人間関係を築いていく上で重要であると感じます。そのためにも自ら継続研鑽に

励み、技術士倫理を遵守した行動を心掛け、技術士として持続可能な社会の実現に貢献することの大切さを改めて実感しています。

4 ワーク・ライフ・バランスについて

会社と日本技術士会以外で取り組んでいる活動として、特定非営利活動法人（NPO）でのユニバーサルイベント活動が挙げられます。障がい者スポーツなどの普及活動に取り組んでおり、毎年恒例のユニバーサル・キャンプ（in 八丈島）では、インストラクターとして100名規模のキャンプを運営するお手伝いをしていますが、近年は長期休暇が取得できず参加できていないのが心苦しいところです。自然を相手に思うままにならない環境で、参加者と協力し合いながら野外生活を過ごす経験は、普段の生活でトラブルに遭遇したときにも耐えられる胆力を鍛えてくれ、仕事と私生活双方の充実につながっています。

5 技術士会に入会して良かったこと

いろいろな分野の経験者の方々から学ぶことも価値があるでしょう。日本技術士会には多くの専門分野で既に多大な功績を挙げられた方も、これから実績をつくるであろう新進気鋭の方もいて、その専門分野も経歴も多種多様ですが、どなたも同じ技術士として年齢・身分や性別などには関係なく、対等な立場で向き合って下さいます。このことが私にとっては一番良かったことですし、自らもそうあるように心掛けています。



技術士仲間と

もし皆さんの夢をかなえるきっかけがそこにあるのなら、有効に活用することをお勧めします。“袖振り合うも多生の縁”どのような出会いがあるか、続けてみて初めてわかること。自分の人生をより豊かにする場を求めて、飛び込んでみてはいかがでしょうか？

6 技術士を目指す方へ

技術士という資格は取得してからが本当のスタートラインです。試験に合格することだけを目的とせず、自分が技術士になったら“何をやりたいのか”“どの様に世の中に貢献できるのか”について考える視点を持ち続けることも重要ではないでしょうか。

人間力を磨き、研鑽を継続することは、間違いなく自分の将来にとって有益なものになるはずですが。多少の失敗や挫折は当たり前、それらの経験も今後活かすくらいの気持ちで、将来に立ち向かっていただきたいと思います。

生涯技術者として生きるための第一歩

石田 厚子

技術士（情報工学部門）

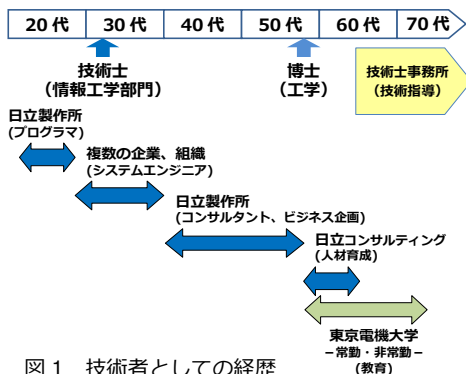
石田厚子技術士事務所

東京大学理学部数学科卒。日立製作所、東京電機大学等で、情報工学分野の開発、技術指導、教育を行う。現在は技術士事務所自営



1 技術士を目指したきっかけ

コンピューターを使う仕事に憧れ、プログラマーとして日立製作所に入社した私は「他人の真似をするな。自分の頭で考えて仕事をしろ」と厳しく指導され、そして技術を磨いてきた。28歳の結婚を機に退職を余儀なくされ、14年間にわたって転職を繰り返したが、その間、33歳で情報工学部門



(当時は情報処理部門)の技術士資格を取得した(図 1)。きっかけは、転職を繰り返す中で、独立した技術者として世の中から認められる存在になりたいという思いからだ。受験の仕組みも準備の仕方も分からなかった私は、学会誌で見かけた技術士の資格を持つ知り合いに手紙を書き、様々なアドバイスを頂いた。第一次試験と第二次試験の間に次女を出産するという綱渡り状態だったが、その分、合格できた時の喜びは大きかった。

2 技術士としての仕事

私は 65 歳まで企業人として働き、そして 70 歳まで大学の教授として学生の指導に当たった。現在は大学の非常勤講師と企業への技術指導をしている。社会人になってから一貫して情報技術に関わってきた。

企業人を卒業する際に技術士事務所を開設したが、その際の目標として「市場で求められ、市場で価値を認められる技術者の育成」を掲げた。この目標は、大学において講義やゼミを担当する場合も同様である。例えば技術者倫理の講義や創造性を高めるためのゼミを通じて、これからの技術者のあり方や行動を学生自身に考えさせることに取り組んできたが、これも技術士の仕事と考えている。

3 技術士になって良かったこと

42歳で転職が訪れた。それまでの14年間、複数の企業や組織で働いてきて、情報システム開発の多くの問題点に気づきつつもその解決のための行動が起こせないもどかしさを感じていた。そこで、かつての上司に手紙を書き、その問題をぶつけてみた。それがきっかけとなり、日立製作所に経験者採用で入社することになった。その後、ソフトウェア生産技術開発者として、国内外を駆け回る仕事が続いた。技術士になっていたからこそ、業界全体の問題について広い視野で考えることができたのではないかな。

4 ワーク・ライフ・バランスについて

最近多くの人が話題にし、推進しているワーク・ライフ・バランスについては、そもそもそのような言葉が存在しなかったこともあって意識していなかった。私のやり方は、「常に優先順位を見極めて、最も優先順位が高い



写真1 60歳で国際学会に参加

ことをする」ことである。加えて「今日できることは今日やる」にも努めた。お陰で料理などはかなり手抜きだったと思う。しかし、子育てが終了するとかなりの時間が取れるようになった。そこで、57歳で工学博士の学位を取得し、60歳前後には海外の学会にも積極的に参加することができた。今は孫たちと Raspberry Pi で遊ぶのが最も楽しい。

5 技術士会に入会して良かったこと

大学を出て仕事についてから50年近くが経つが、同じ分野、同じ企業グループで過ごした期間が長いので、視野は狭くなりがちだった。しかし、技術士の世界となるといろいろな部門の方とお付き合いができるので視野が広がる。世の中の複雑な問題解決には様々な技術を総合的に組み合わせる必要がある。それを実現するためにも、視野を広げ、他の分野の技術についても理解を深めることが求められる。技術士会は、技術者としての目を開かせ、活動範囲を広げるための役割を果たすものと考えている。

6 技術士を目指す方へ

人はそれぞれ違った環境、違った価値観、違った特徴を持つ。目標は同じでもそれに辿り着くための道はいくつも存在する。まず自分の足元を見つめて、自分にとって最適な道を見つけることが必要である。他人から学ぶことも大切である。自分の人生は自分で辿ってきた道で決まる。どのような道であろうとそれが唯一無二の自分自身である。

土木と地質のかけ橋を目指して

田中 尚

技術士（応用理学部門/総合技術監理部門）

日特建設株式会社

理学部卒業、地質学専攻、建設会社勤務



1 技術士を目指したきっかけ

私は大学で地質学を専攻しました。多くの友人が地質コンサルタントへ就職する中、地質の知識を直接的に土木の世界の中で活かしたい、「土木と地質のかけ橋」になりたいと思い、建設会社に入社しました。初年度、私は技術本部に配属され、先輩・上司の指導の下、日本全国の施工現場で起こる地質的トラブルの対応を行いました。

その時に指導していただいた上司が技術士であり、それが人生初の技術士との出会いでした。上司も私と同じ地質を学んできた方で、まさに土木と地質のかけ橋の仕事をしていました。工事担当者には分かりづらい地質の情報を分かりやすく説明し、施工における留意点などを伝える、上司のそんな仕事ぶりに憧れました。特に、技術士としての考え方や仕事の進め方、人柄などにとっても肝銘を受けました。自分もこんな人になりたい！こんな技術者になりたい！と心から思い、技術士を目指すこととなりました。

2 技術士としての仕事

現在、私は広島支店の技術部に所属し、技術士としての専門性を活かして地質的問題の解決方法を提案する仕事をしています。過去には、工法開発や経営企画、海外事業と専門外の業務にも携わりました。しかしながら、どのような業務であろうと、技術士としての考え方、特に事象の抱える課題と問題点の整理、それに対する解決方法の検討など、技術士としての普遍的な思考の積み重ねが非常に役に立ちました。また、総合技術監理部門のキーワードである「トレードオフ」の解決方法は、どのような業務を行ううえでも重要で、これを考慮した提案はお客さんから高い評価を受けることが多いと感じます。

3 技術士になって良かったこと

私が作成した提案書には説得力があるようで、当社へ仕事を依頼する方々の信頼や期待

につながっていると感じています。また、技術士という称号が自分自身への戒めとなり、より責任感をもって仕事ができるようになったと思っています。

4 ワーク・ライフ・バランスについて

週末の家族と過ごすかけがえのない時間を確保するため、ワーク・ライフ・バランスをしっかりと考えて行動しています。

現在、私は広島市で単身赴任をしており、月に1～2回程度、茨城県にある自宅に帰ります。土日だけでは移動に時間を取られてあまり家でゆっくり過ごすことができないので、基本は金曜日が月曜日に有休を取得し、2泊3日を確保するようにしています。



帰宅日は家庭のイベントなどを考え、1ヶ月以上前から決めていきます。このため、その休みを確保するためにどう仕事を進めれば良いか考え、効率的に業務を行っています。ワーク・ライフ・バランスを考える時、ぼんやりとバランスを取ろうと考えてもなかなかどうしたら良いものかハッキリ分からないことが多いと思います。帰宅日を決めるなど、ライフ面に具体的な目標があるからこそ、そこに向けた働き方を考えることができるのだと思います。

5 技術士会に入会して良かったこと

技術士会に入会して、社外の技術士の方々との交流ができるようになりました。部門ごとの交流の場もありますが、若手技術士など、横のつながりができる集まりもあります。このような他部門の技術士の方々と知り合い、話をすることは、自分の見識を広げるとても良い場になっています。

6 技術士を目指す方へ

技術士を目指す皆さん、応援しています。私は、この記事を読んでいる全ての人が技術士になれる知識と思考を持っていると思います。後は、それを試験や実践でうまく表現できるかどうか、ということだと思います。多くの方が持っている実力をうまく表現できずに試験に失敗していると私は考えます。思考を整理することは、万事をうまくこなすことの秘訣です。その方法が分かった暁には、必ず技術士の扉は開くでしょう。

仕事を続ける覚悟と自信

佐藤 律子

技術士（環境部門/建設部門/総合技術監理部門）

日本工営株式会社

筑波大学第一学群自然科学類卒業



1 技術士を目指したきっかけ

私の技術士受験の理由は、一言でいえば“仕事に必要な資格だから”なのですが、それ以上に、“自分自身が技術者としてやっていく覚悟を決めるため”という動機があったように思います。私が最初に受験をした頃は、まだ第一次試験合格が必須になる前で、既に7年以上の経験年数があったものの、まだ覚悟が持てず、受験するもさんざんな結果でした。

しかし、そうこうするうちに、同じ会社に勤める夫の海外転勤に同行、2年余りの休職・出産を経て、復職した頃には、技術士でないと仕事を取るための土俵にも上れない、という状況になっていました。休職していた間に、技術士であることが仕事をするための必須条件になったのです。

私は「仕事がしたい」と復職はしたものの、子育てをしながら（夫は海外出張が多く、双方の親も遠方のため）、本当にやる覚悟があるのか、やれるのか、自問自答の日々でした。

2 技術士としての仕事

技術士としての仕事は、ただ言われた作業を遂行するというものではなく、その技術が社会でどう使われて、役に立っていくのかを意識した課題解決策が求められます。受験に失敗していた頃の私は、ただ業務の説明を答案用紙に書いていただけで、技術者として何を課題として捉え、どう解決策を提案したかという視点は抜けていたように思います。

3 技術士になって良かったこと

子育て中は余裕がなく、第二次試験も失敗を繰り返していた私ですが、それでも仕事を続けるには必要な資格だと奮起し、なんとか合格すると、それが大きな抛り所となりました。社内外で有資格者として認められることが自信につながり、少しずつ足元を固めて日々を過ごすことができるようになりました。さらに、与えられた仕事をこなすだけでなく、

技術士として仕事を取ってくる立場になったことで、意識が大きく変わったように思います。

4 ワーク・ライフ・バランスについて

子育ての最中は、なかなか思うように働けず歯がゆい思いをしたものです。周りに迷惑はかけたくないし、現場にも行きたい。でも、子供との時間も大事にしたい。なんだかんだと頑張ってしまう、それが後輩たちには「そこまでやらないといけないの？」と映ったようです。妊娠を機にす



癒しを求めて猫カフェへ

ぱり退職してしまった女性社員もいて、もっと育児も仕事も楽しむ姿を見せてあげられたらと、今も残念に思っています。働き方に“こうやれば絶対上手くいく”という正解はありません。それぞれ自分に合うやり方が、一人ひとりの正解なのだと思います。

今や娘も大学生になり、自分の親のことや自身の今後を考える時間が増えました。癒しを求めて猫カフェに通う頻度も・・・。

5 技術士会に入会して良かったこと

私は、技術士会で異業種の方と交流でき、柔軟な考え方や多様な働き方に刺激を受けています。様々なセミナー等でも、自分が所属する会社の中だけでは得難いものが多々あり、これも技術士資格を持っているからこそ得られた機会ではないでしょうか。



2016年全国大会ブースにて

6 技術士を目指す方へ

これから技術士取得を目指す方たちには、ぜひ若いうちに取得することをお勧めします。取得の必要性をあまり感じていなくても、若いうちに取得しておくことで、結婚や出産・育児などの色々なライフイベントの局面を乗り切る自信やモチベーションの持ちようが大きく違ってくるでしょう。

仕事に情熱を注げる時期、若干セーブしなければならない時期、誰も波があるものです。生涯、何らかの形で技術者として仕事をしていきたい、社会と関わっていきたくと思うのであれば、人生の選択肢を豊かにしてくれる技術士の取得をお勧めします。

自分らしく生きる

中田 よしみ

技術士（原子力・放射線部門）

中田技術士事務所

近畿大学原子炉工学科卒業、原子力関連企業に24年勤めた後に退職。

現在は大学内技術補助員&個人事務所運営



1 技術士を目指したきっかけ

2004年度に技術士に原子力・放射線部門が設置された時、技術士の資格は仕事では直接必要ないため、試験を受けること自体に関心を寄せることはありませんでした。試験を受けようと思ったきっかけは、2007年4月、新しい職場の役員（技術士）に受験を勧められたことでした。その時、第二子がもうすぐ4歳になる頃でした。保育園から体調不良の連絡も少なくなってきて、少し自分の時間を持てるようになってきたと感じていたこともあり、受験してみようと思いました。その上司に勧められなかったら、受験しようと思わなかったことでしょう。

2 技術士としての仕事

私の所属している業界では、今のところ「技術士であること」は必須ではありません。そのため「技術士」として仕事をするのはほとんどありません。しかし、技術者としての高い倫理観と技術力を持ち、またそれを研鑽し続けている技術士だからこそ、できた仕事があります。技術士の資格が求められていなくても、技術士としての誇りをもって業務にあたり、また社会と接し、貢献したいと思っています。

3 技術士になって良かったこと

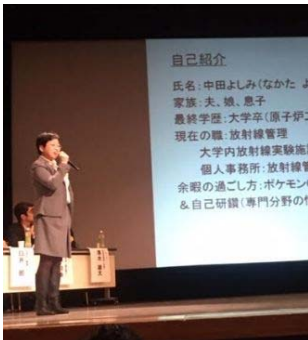
顧客の信頼、任される仕事、周りの期待、新たな人間関係など、技術士になって良かった、と感じたことは多くあります。

今までで一番「良かった」と感じたのは、「技術士」であることが、キャリアの再構築に繋がったときです。同じように日々過ごしているつもりでも、身の回りの状況は変化します。家族や仕事、自分の変化に対応できるようにと新しい第一歩（転職）を踏み出すことができたのは「技術士」であったからだと感じています。

4 ワーク・ライフ・バランスについて

職場での理解と協力、家族の助けを得ることで、ワーク・ライフ・バランスをとっています。子育て期は「今は子ども中心の時期」と捉え、仕事はお迎えのため定時まで、出張も日帰りです。東日本大震災直後、中学生になった第一子に、第二子のお迎え、簡単な家事などに協力してもらうことで、休日出勤や1時間程度の残業で緊急作業対応支援業務を行うことができました。また、家庭と職場の双方において、家族としての役割と技術士としてすべきことを職場と家族に、差し障りのない範囲で情報を伝え、共有してもらうことでバランスをとっています。

5 技術士会に入会して良かったこと



一次合格者祝賀会 (2019年3月)

東日本大震災直後は、業務と育児に追われる毎日で、技術士会に入会して良かったと直接感じる機会が少なかつたと思います。その後、子育ても仕事も落ち着いたため、部会や委員会等、参加する機会が増えるにつれ「技術士会に入っていて良かった」と感じる事が多くなりました。職場も部門も年齢も異なる「一技術士」同士の関係の下での議論や活動。それを通して得られる多くのこと。活動に参加するたびに「良かった」と感じています。

6 技術士を目指す方へ

私が子どものころに思っていた社会人のイメージ、就職したばかりの時に思っていた「働く」ということと、現状には大きな隔たりがあります。さらに家族が抱える学業や健康に関する問題、会社の経営状態、事業内容の変更など、自分を取り巻く環境は時々、予兆もなしに変化することがあります。「きっと、これは一生に一度、有るか無いかの経験」と、その状況を受け入れることもできますが、それだけでは改善、解決につながらない時もあります。「技術士」であることは、その状況を好転させるきっかけになります。多くの出会いや学びは、将来人生の岐路に立ち、働き方や生き方を再考するときに、その選択肢を増やしてくれます。一人でも多くの方が技術士として社会で活躍されることを期待しています。

Q&A



当委員会では、技術者・技術士を目指す女子学生・女性社会人向けの懇話会として、3か月に一度「技術サロン」を開催しています。今年度（2019年度）で11年目に入り、この9月で第43回を数えました。

「技術サロン」で参加者から寄せられる質問や悩みは、「①技術士資格に関する質問」「②働き方・職場に関する質問」「③学業・キャリア形成に関する質問」「④ワーク・ライフ・バランス、その他の質問」の4つに大きく分けられます。参加者の立場や状況を反映した質問に、私たち委員会メンバーが自らの経験を基に回答し、あるいは共に考えます。参加者は女性を対象としていますが、寄せられる質問や悩みの殆どは、男性にとっても仕事や生活面で重要なキーワードが多く含まれています。こうした質問や悩みをメインに、「Q&A」として取りまとめました。

多様性の尊重や働き方改革など、男性女性に限らず、個々人や企業にとって、ともに乗り越えていくべき課題が多い現在、ここに挙げた「Q&A」が、何かしらのヒントになれば幸いです。

①技術士資格に関する質問

Q1-1 技術士になるまでの流れを教えてください。技術士補取得後、どのように実務経験を積みれば良いですか？また、技術部門と選択科目をどのような観点で決めれば良いでしょうか？

A 技術士になるまでの流れに関しては、技術士補登録や指導者についての質問が多くみられます。これらに対する回答は、参加者個人の状況により個別の助言となる場合が多いですが、**自己の業務の中で十分な実務経験を積むことが可能な経路（技術士になるまでの3つの経路：「技術士資格取得まで」とネット検索し、技術士会のHPを確認！）が最も望ましい**といえるでしょう。その中で意識して、技術士に必要な「計画、研究、設計、分析、試験、評価」等に関わる実務経験を積む必要があります。その上で、**修得した実務の専門事項に対応して、部門・科目を選択すればよい**でしょう。

Q1-2 技術士になろうと思った動機は何ですか？

A 女性という理由でリーダー、主担当をまかせてもらえなかったから。**独り立ちした仕事をする必要性**を感じたから。社外的に技術者として認めてもらいたいから。**社外での活躍の場が増える**から。等々、きっかけは様々ですが、自身が必要と感じ、**どのようになりたいかの目標**をもつことが重要でしょう。

Q1-3 技術士になってよかったことは何ですか？

A **技術士でないとできないこと**として、発注要件に「技術士に限る」業務があることや企業としての価値が高まること等があります。そのような場合、**資格手当や昇進の対象**になります。資格があることで、公的に認められ、相手から信頼されるようになります。また、**管理技術者やプロジェクトリーダー**になれる機会が増えることも挙げられるでしょう。

実務的なメリットが少ない技術部門においても、**自身の意識改革や社外ネットワークが広がる**ことによるメリットがあります。参加者の中には、何かしらの技術系女性としてのネットワークに参加することを望む声も聞かれます。

Q1-4 どんな技術者が求められているのでしょうか？

A 業務に必要な、**全般的な専門知識を理解し応用**することができるだけでなく、業務を遂行するにあたって、必要な**コミュニケーション力やマネジメント力、リーダーシップ**等の能力を備え、**複合的な問題に関して、相反する要求事項によって及ぼされる影響の重要度を考慮した上で、問題解決**ができる技術者と考えられます。

Q1-5 技術士取得の時期はいつ頃が適しているのでしょうか？

A 平均で 40 代前半ですが、女性は平均より 6 歳程度若くして取得しています。**技術士取得は、スタート地点**であり、技術士取得後の活躍が期待されています。ご自分のライフイベントやキャリアパスを長期的に考えて計画すると良いでしょう。

女性としては、出産の時期との関係が気になるころですが、会社の中でのポジションを確立してから出産する、若いときに出産し子供の手が離れてからバリバリ働く、妊娠中は会社を定時に退社し規則正しい生活ができるので計画的に勉強時間を確保できる等、いろいろな考え方があります。**個人的に適切な時期は、様々**でしょう。

Q1-6 技術士資格をとるために、どのように勉強すれば良いのでしょうか？

A 資格取得のための勉強に関する質問が多くみられます。**関連団体等で公開講座**等が催されることもあるので、**機会を有効に利用**するとよいでしょう。**志を同じくする仲間が見つかる**と、**モチベーションの維持**に繋がります。また、**個人的な指導者**が見つかることもあるでしょう。

Q1-7 技術者としての日常業務と資格取得のための勉強を両立させるにはどうしたら良いでしょうか？

A 基本は、**日常業務の中で、積極的に関連事項の技術などを修得**することが一番です。また、通勤時間や家事の間など、**隙間時間をうまく活用**し、自己の業務以外の知識を補強すると良いでしょう。

Q1-8 技術者になるために経験しておいたほうが良いことは何でしょうか？

A 経歴に関しては、技術士になるためにどのような経験が必要か、という点に関心が高いと思います。一般的には、技術士になるために**求められる能力(専門的技術能力、業務遂行能力、行動原則)を身につける**べく、仕事の中で、意識して必要な能力を高めるように実践するのがよいでしょう。さらに、**自己の専門以外にも関連する知識を身につける**べく、講習会などに参加するとよいですね。

Q1-9 受験のための過去問、参考書は販売されていますか？

A 日本技術士会の HP には、**過去 10 年を超える第一次試験、第二次試験の過去問**が掲載されています。「**技術士 過去問**」等の**キーワードで検索**してみましょう。参考書も多く出版されています。自分に合った資料・方法で勉強していきましょう。

Q1-10 受験すべき技術部門と選択科目が決められません。どのような観点で決めれば良いですか？

A 技術士は業務に即した資格なので、**現在の業務に近い分野**を受ける事が望ましいです。検討方法のひとつの基準として、**二次試験の問題が解けそうな部門・科目で受験**するのも手です。部門・科目は日本技術士会 HP 内の「試験・登録情報」のページや、「技術士制度について」(PDF) という資料で確認できます。どの部門・科目で受験する場合でも、**業務の中で自分が関わった内容を理解し文章化**できるようにしておきましょう。

Q1-11 技術士資格は取得していませんが、何かしら技術系女性としてのネットワークに参加する手段はありますか？

A 現在は多くの業界が女性のネットワーク構築に努めています。まずは**ご自身の業務関係の団体**の状況を調べてみてはいかがでしょうか(例:土木技術者女性の会、設備女子会)。また、**技術サロンへお問い合わせいただければ状況に合わせてアドバイスは可能**です。

Q1-12 技術士になって自分の業務がどのように変わりましたか？

A 技術士になる前に比べ、**発言に責任と自信を感じる**ようになりました。また、業務では直接関係のない方からも、**技術的問題に見解を求められる**ようにもなりました。業務そのものが変わるわけではなく、意識的な変化という部分が大きいです。

Q1-13 文系出身者が技術者・技術士を目指すことはできますか？

A **文系出身者が技術者・技術士を目指すことは可能**です。実際に技術士として活躍している技術者はたくさんいます。また、理系の大学等を卒業し、学んだ分野と違う分野で活躍している技術者もたくさんいます。社会に出てから、どれだけ業務に真摯に向き合い、取り組むかが重要です。

ただ、海外の技術系資格相互認定（APEC エンジニア、IPEA エンジニア等）では、大学等のエンジニアリング課程修了が求められるものもあります。

Q1-14 社内の指導技術士（補助する技術士）が定年で退職した場合はどうすればよいでしょうか？

A 『①定年後も引き続き指導』『②社外で指導技術士を探す』『③指導技術士なしで第二次試験をめざす』といった選択肢があろうかと思います。ですが、まずは**技術士試験センター（03-3461-8827）にご確認**ください。ご質問者の置かれた状況によって回答は異なるでしょうから、個別にお問い合わせ、ご相談いただくのがよろしいでしょう。

Q1-15 技術士としては、どのような技術者（資質能力）が求められているのでしょうか。

A 自分が提供する技術を、使用する最終利用者の立場で考えて技術提供できる技術者です。そのため、自分の専門領域だけでなく周辺領域にもアンテナを張り、情報入手に心がけている技術者と言えるでしょう。

常に謙虚、利用者視点で考えた問題提起、自らの知見をもとにその時点で最善の改善案を提示できる必要があります。技術士に求められる資質能力（コンピテンシー）については技術士会や文科省のHPを参考にしてください。

Q1-16 受験の際に授乳可能な休憩室（夫と子供の控室）はあるのでしょうか。

A 妊娠中、授乳期あるいは小さい子どもさんのいる場合、**授乳室などの準備が可能**です。「受験に際して希望する特別措置」に該当し、受験時に事前申請することにより対応可能な場合があります。受験する際には**技術士試験センターにご確認**ください。

<技術士が感じている、資格取得によるメリットの例>



有形メリット：**金銭面や処遇**において優遇措置を受けられることがあります。ただし、「**資格さえ取れば安泰**」という**位置づけの優遇ではない**ことがほとんどです。

<優遇措置の例>

- ・資格手当、合格報奨金等の支給
- ・昇給・昇格、配置転換、転職等の際の前提条件またはプラス条件として考慮される
- ・他の資格試験受験の際の試験一部免除
- ・ローン金利の優遇



無形メリット

- ・自分のことを知らない相手に、**自分の能力や向上心を客観的な評価**としてアピールすることができるようになった
- ・自分の能力に**自信を持つことができた**
- ・資格取得の勉強を通して、**知識を整理できた**
- ・資格取得者のネットワークへの参加によって**人脈が広がった**
- ・執筆や講演等、**社外での活動機会が広がった**

②働き方・職場に関する質問

Q2-1 女性が技術士として働く上でのメリット、デメリットは何ですか？

A 女性は少ないのでどうしても目立ちますから、少しの成果でも評価されやすいともいえます。また、**資格を持っていることで周囲や相手は安心して仕事を任せられます。**

一方で、**資格に恥じない技術力**を要求される厳しさがあるので**継続的な勉強が必要**なことでしょうか（これは、デメリットではありませんが）。

Q2-2 職場が男性ばかりで不安なのですが…。

A **仕事をきちんとこなせていれば、必要以上に男性・女性を意識することはありません。**もし、力仕事などがある時は、遠慮せず男性にお願いして構いません。**困ったことがあれば、素直に相談すれば誰か助けてくれます。**かえって、**女性の視点（あなたの視点）をうまく仕事に活かせる場面**があるかもしれません。**少数の女性同士でうまく団結**できるよう仲良くしましょう。

Q2-3 技術者は男性が多く、職場の男性的なノリについていけません。男同士の飲みニケーションの輪に入れず、情報共有がしづらいと感じます。どう対処すればいいですか？

A 勢いのある男性陣に**無理に合わせることはない**と思います。業務上必要な情報は後から確認できますし、**無理して合わせてしまうと後が続かない**と思います。多少の疎外感はあるかもしれませんが、「彼女はこういう付き合いは苦手なんだな」と思ってもらうことで、周囲からの接し方が変わってくるのではないのでしょうか。

Q2-4 技術系の仕事をさせてもらえないのですが、どうしたら良いのでしょうか。

A 今の仕事は、本当に技術系の仕事ではないのでしょうか？**もっと技術者としての視点を持って仕事に取り組んでみて**はどうでしょうか？つまらなそうに見える事でも、全体像をイメージすることで重要性を理解できたり、あとで別の仕事に役立ったりすることもあります。まず、今の仕事に対する自分の姿勢を変えてみましょう。

その一方で、やりたい仕事につくための準備（勉強など）と、**周囲へのアピール**も諦めずに続けましょう。

Q2-5 仕事をしていくうえで苦労したことや、それをどう乗り越えたか教えて下さい。

A 問題が難しくてなかなか解決できない、周囲に相談できる人がいないといったときに苦労しました。そんなときは、とにかく**諦めずに自分でできる限り調べてあらゆる方法を試す**。一度頭をリセットして考え直したり、**見方を変えてみたり**する。そのように乗り越えてきました。

Q2-6 結婚や出産で退職後、別の会社で復帰（転職）するのは難しいでしょうか？

A まず、新卒時より条件は悪くなりますから、**転職先を見つけることは簡単ではありません**。見つかったとしても、新しい環境に慣れる必要がありますので、**元の職場に復帰するよりはハードルが高くなる**でしょう。ただし、**新しい生活に合う働きやすい職場が見つければ、元の会社にこだわる事はない**でしょう。

転職に際しては、自分の得意なこと（セールスポイント）と譲れない条件をよく整理しておくことが大切です。自分の能力の**担保として資格を取得**していれば、有利になる場合もあるでしょう。

Q2-7 育児休業後に仕事に復帰するのが不安なのですが…。

A 育休中も、**復帰後に必要となる情報収集**を心懸けましょう。職場と定期的に連絡を取るのもいいですね。

復帰したら、**頑張り過ぎずにできないことは早目にヘルプを出す**勇気も必要です。子どもが小さいうちは、とにかく**子育てが第一と割り切きって**、乗り越えてください。大きくなるにつれて確実に手がかかからなくなりますので、子育ても楽しんでください。

Q2-8 技術系の職場で女性であることについての心ない言動にはどのように対処してきましたか？

A 相手の考え方を変えるのは簡単な事ではありませんよね。**他の人が苦手でも自分が得意なことで自分の立場を確立**して認めてもらうというのはひとつの方法ではないでしょうか。例えば、業務の中で**女性だから（あなただから）気が付く事、提案できる事**はありませんか？英語が得意だと部署の中で頼られる場面が多かったりします。**仕事の上で無視できない人材になる**ことで、そのような言動は減ると思います。

Q2-9 女性が働きやすい環境づくりとして、どのような事例がありますか？

A ①風土・文化、②制度、③設備の改善の事例を示します。

①性別、年齢、国籍等**多様な人材を受入れ**、尊重し、能力発揮を支援し活かすことでチーム力を高めるダイバーシティ&インクルージョン（以下、D&I）経営の推進です。“**組織トップが継続的に言い続ける**”ことが重要で、女性にも男性と同様に能力を発揮してもらおうという風土・文化も形成されます。経産省が表彰した企業がHPで紹介されています。

②柔軟な働き方の制度として在宅勤務を含むテレワーク、フレックスタイム、時間単位有休、勤務地選択等があります。労働時間短縮のため、残業時間の見える化、ノー残業デー、有給休暇取得奨励等があります。このほか、部下のワーク・ライフ・バランス（以下、WLB）を支援するイクボス育成、D&Iを推進した組織の評価、育休前後の面談、育休復職者への社長からの応援メッセージカード贈呈、託児所の整備、ベビーシッター利用料の助成等の例があります。

③設備の改善では、工事現場での女性用トイレや更衣室の整備等があります。

Q2-10 外国人で、言葉が通じないことがあるため、社内や客先とのコミュニケーションをどのようにとればよいでしょうか？

A 技術的な話の場合、英語での専門用語などがあるので、**わかり易く伝える**ことが大切です。**絵にして伝える**ことも効果的だと思います。伝わっているか不安な場合は、確認のメールをすると良いです。コミュニケーションという点では、まず、挨拶だけでも、相手の言語で行うと良いと思います。

Q2-11 実務経験とはどのような仕事のことを言うのでしょうか？職場経験？現場経験？また、1年目の仕事内容はどのようなものですか？

A 技術士第二次試験受験資格という実務経験とは、「科学技術（人文科学のみに係るものを除く。）に関する専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価（補助的業務を除く。）又はこれらに関する指導の業務」となっています。職場、現場は問いません。

1年目の仕事は勤務先によって変わりますが、基本的に先輩などから教えてもらう部分的で比較的易しい仕事と考えられます。できるだけ知識・見識を広めていくことが大切です。経験を積むに従い、より高度な仕事、全体的な仕事を並行して、かつ自立して行うようになります。また、大学院を出ている場合、最大2カ年を実務経験として参入することができます。

③学業・キャリア形成に関する質問

Q3-1 学生時代にやっておいた方が良いことはありますか。

A まずは、**学校での勉強をしっかりとすること**です。時間ができたら、見聞を広めるために、いろいろな所に出かけてみましょう。セミナー、研修、趣味、アルバイト。どうしようかと悩む前に、**とりあえず行動**してみましょう。行動して何か得ることができれば、自信につながります。また、就職や進学を有利にするために必要な**資格を取る**こともお勧めします。**社会人になってからでは、試験のための勉強をする時間が取りづらくなります。**

Q3-2 就職するときに、学部卒より大学院卒の方が有利でしょうか。

A 今の就活状況であれば、**自分の考えや能力を確立し技術職で働くためには、大学院に行った方が良い**と思います。**就職先の研修制度が男女の区別なく充実していれば、学部卒も良い**と思います。大学院卒であると結婚が遅くなると言われるかもしれませんが、そんなことはありません。人それぞれです。

Q3-3 アカデミックな研究者になるか、企業に入って技術の仕事をするか迷っています。

A 研究所に入るか学校に残らなければ研究者になれないということはなく、**企業でも研究職に就くことはできます**。選択肢は2つではありません。まずは自分が何をやりたいのかをよく考えてみましょう。

また、**所属先によって勤務・雇用形態が大きく違います**。自分が筆頭となりスポンサーを探して契約する研究者もいれば、会社・団体として顧客から業務を落札・受注する場合もあります。自分のライフプランも含めて進路を決められると良いですね。

Q3-4 就活で特に意識して力を入れたことはありますか。

A **自分のやりたいことは何か、それをできる会社はどこか、真剣に考え探**すことです。そして、アピールできるよう勉強や経験をしっかりと積みます。経験は、**課題を見つけ解決するために如何に考えてきたかを説明できる**ことが大切です。

自分では大したことではないと思っても、他人から見ると評価されることがあるので、アドバイスを受けるようにしましょう。

Q3-5 自分の専攻を活かした職業がどんな仕事かわかりません。また、希望通りの仕事につけるか悩んでいます。

A 就職先の業界が自分の専攻と異なっても、**それまで学んだことが役に立たないということはありません**。専攻で会社を選んでも、**配属先によっては専攻と違う業務に就くこともあります**。

とはいえ、選択肢を増やすことは重要です。**会社説明会はもちろん、インターンシップやOB訪問**を活発に行い見聞を広め、**ここで働いてみたいと思える会社**を探して、チャンスを増やしてみたいはいかがでしょうか。

Q3-6 興味のあることがあまりなくて、どのように将来を考えていけば良いのかわかりません。

A まずは**今いるところで真剣に勉強し、社会の出来事に目を向けて**みましょう。その中で、つながりや問題点を見つけ、それを自分の課題として、研究に結びつけたり、就活に活かしたりしましょう。ひとつひとつ**目の前の課題を解決していくうちに、自信を持って将来を考える**ことができると思います。

Q3-7 女性の活用が遅れている会社において、技術部門への配属が叶わず、営業部門や事務部門になりそうです。どうしたら良いでしょうか。

A **技術部門だけが技術を知っていれば良いということではありません**。営業であれば技術に関して十分説明できる能力が必要であり（技術の理解できる営業担当者は評価が高い）、事務部門では特許や市場調査、企画など技術に関係する部署があります。どのような部署に配属されても、**自分の持っている技術力や知識を活用できるところを見つけ、実力をつけて**いきましょう。しっかりと仕事を続けていれば、**きっと誰かが評価し抜擢してくれます**。

Q3-8 仕事をしていく上での悩みや苦勞には、どのように対処しましたか。

A 苦勞や悩みは、**自分で考えてダメなら、周りの人の協力を素直に仰ぎましょう**。社の内外を問わず、**頼りにできる人を見つけて**おきます。失敗で落ち込んだときは、誰でも失敗はするものと考え、**同じ失敗は繰り返さないよう**学習しましょう。そのあと、ストレス発散のため、体を動かしたり、食事をしながらおしゃべりしたり、**自分の好きなことをして気分転換**を図ります。**いつまでも失敗したことにこだわらない**ことです。

Q3-9 職場に女性技術者がいません。どのようにキャリアプランを立てれば良いでしょうか？

A **社内のキャリアプラン支援制度**を活用しましょう。例えば、定期的な上司とのキャリア面談に加え、1対1で中堅以上の社員から指導・助言してもらうコーチング、経験豊かな役職者から一定期間、キャリアに関する指導・助言をもらうメンタリング等です。

制度がない場合、ご自身のキャリアプラン（組織からの期待、ご自身の希望、できることに応じて目標を立て、いつどのように行動をするか等）を**日頃から上司にこまめに相談**する機会を作ることをお勧めします。上司に話しにくい場合は、斜め上の経験豊かで自身の悩みに共感してくれそうな方をお願いするのもよいでしょう。

仕事と子育ての両立不安が大きな場合は、男性であっても、仕事と育児・介護・看護等を両立して働いている方からの助言が役に立つかもしれません。

ロールモデルがいて、将来の姿を考えるヒントが得られます。男性であっても、仕事を効率的で正確、アイデアが豊富、WLBを大事にしている、顧客の信頼が厚い、いつも笑顔で癒されるなど、一部分を取り出し、ご自身のパーツモデルにする方法もあります。

さらに、社外で女性技術者のロールモデルや相談者を見つけることもお勧めです。積極的にロールモデルに出会えそうな社外活動に参加し、ネットワークを広げていきましょう。

④ワーク・ライフ・バランス、その他の質問

Q4-1 家庭と仕事の両立はできますか？ どんな工夫をしていますか？

A 両立は可能ですが、ただし、長時間残業は家庭生活に支障をきたすこととなります。会社に長い時間いることが会社への貢献ではありません。長時間残業をしなくても、成果を出せるような仕事の仕方を心懸けることが大切です。やるべき事に優先順位をつけて、時間管理ができるようになるといいですね。子育ては、自分一人で抱え込まず、家族や地域の協力も得ましょう。

Q4-2 出産を優先して一時休業したら第二次試験合格が遠のきそうな気がします。アドバイスをお願いします。

A 休業中に育児をしながらでも受験勉強はできますし、そのように努力して合格した女性もいます。確かに、休業によってキャリアが中断してしまったり、そのまま退職、転職してゼロからの再スタートになってしまう場合もあるかもしれませんが、それでも、自分が何を優先したいのかよく考えて選択した答えなら後悔はないのではないのでしょうか。

Q4-3 ワーク・ライフ・バランスについてアドバイスをお願いします。

A 環境が変わっても柔軟に対応できることが大事だと思います。また、周囲のサポートも欠かせません。信頼関係を築けるような態度で日々の業務を行っていきましょう。また、パートナーの理解はとても重要です。理解してくれる人と結婚する、結婚した人に理解してもらえると良いですね。自分一人で抱え込まないで周りを巻き込む、そういう体制を自分で作っておきましょう。

Q4-4 男性のスーツと同じようなフォーマル感がある服装の選び方はどうすれば良いでしょうか。

A 日本のファッション誌は「かわいさ」を強調しているようなので、自分の周りや海外のニュース、ドラマを見て、「プロフェッショナル」に働いている人たちの服装を参考にしてみましょう。

Q4-5 時間の上手な使い方を知りたいです。

A まずは、**やらなければならないことの優先順位と締切**をはっきりさせましょう。そこから、できれば**余裕のあるスケジュールを組み、前倒しで取り組み**ましょう。そうすれば、飛込みの案件にも対応できるかもしれません。

また、取組み方は、**できる部分は先にやっておく**。たとえば、報告書、**定型的なことは先に書き**、取っ掛かりをつけておく。すべてが終わった後、ゼロから始めるより、時間をかけずに書き始められます。

仕事ではないかもしれませんが、**家事においては、やらないと決めることも必要です**。「今日は掃除はしない」と決めたら、多少の汚れには目をつむる**思い切りを持ちましょう**。その分、子供といっぱい遊びましょう。

Q4-6 モチベーション維持の方法を教えてください。

A ことばは悪いですが、「**目の前にニンジン**をぶら下げて走る馬状態」にすることです。「ニンジン」は、年代によって異なるかと思いますが自分の「ニンジン」を早く見つけてください。これをやり遂げれば「良い評価がもらえる、自分の知識が広がる、お給料が上がる」や、これを終えたら「旅行に行こう、好きな本を読もう…」など、いろいろあると思います。

Q4-7 結婚による苗字変更にどのように対応しましたか？

A 全員に当てはまる「正解」はありませんが、次のように対応した先輩がいます。



戸籍上も仕事上も変更した

結婚時点ではまだ責任のあるポジションや大きな実績はなかったので、旧姓にこだわる必要がありませんでした。



戸籍上は変更し、仕事では旧姓

旧姓で論文などの実績があり、同一人物と認識してもらえなくなると困るので、旧姓を名乗っています。

Q4-7 家族の介護問題をよく聞きます。仕事と介護をどのように両立していますか？

A 基本姿勢は「**頼る**」です。働きながら介護することは、物理的にも難しく、頑張るほど負担が増えて介護の継続が難しくなります。そこで、職場、自治体の相談窓口や福祉事務所、福祉サービス事業所などすべてを頼り、両立に縛られずに仕事ができる環境を整えましょう。

介護では「自分がやらなければ」「不調などのわずかなサインに気づくのは自分だけ」そんな責任感から、無理をしてでも“仕事も家族の介護も”とがんばってしまいがちです。しかし、**一人でやれることには限りがあります**。預けることに不安はあると思いますが、頼ることはお互いのためです。物事に優先順位をつけ、時には手抜きで時間確保、気分転換も大事だと思います。

Q4-8 ライフイベント（出産・育児・介護）と仕事の両立に関して、事前に備えておくべきことはありますか？

A さまざまな変化に対応できるよう、余裕ある環境を作っておきたいですね。

①精神的余裕：頼れる人・団体、気分転換できる手段、「善後策を講じたら、あとはよくよしない」

②時間的余裕：物事に優先順位をつける、便利グッズを駆使する、手抜きは悪いことではないという意識を持つ

③金銭的余裕：①や②が行き詰ったときの緊急対応として持っておく

そして、さまざまな出来事をコントロールしていけるよう、試行錯誤しながら、自分の判断力や行動力に自信をつけていってください。

編集後記



「技術士」は、技術者の資格の中で、取得するのが最も難しいと言われている国家資格です。また、建設関連業界では、必須の資格であることから、往々にして取得することがゴールと捉えられがちです。しかし、このキャリアモデル集を読んでもいただければ、モチベーション如何で取得できる資格であること、取得してからが新たな技術者人生のスタートであること、を理解していただけることと思います。

「技術士を目指すきっかけ」は、上司に勧められて、技術士資格そのものに魅力を感じて、技術力の証明のため、さらなる成長のため、社内外の信頼を得るため、技術士に感銘を受けたため、ずっと働いていくため、自分らしい仕事をするため、と様々です。

「技術士になって良かったこと」も、技術者としての信頼性の向上、経済面での充足、多方面の技術者との交流、業務上の資格要件の取得、管理職などの職域の広がり、仕事を通じた社会への貢献、技術者としての視野の広がり、責任感の自覚、など人それぞれですが、『技術士』が技術者としての礎となっていること、『技術士』であることに誇りを持っていること」が根底にあるように感じられます。

そして、「技術士会に入会して良かったこと」として、多くの方が異分野の技術者との交流、交流を通じての情報交換、成長へのモチベーションアップ、委員会活動等への参加、見識の広がり、などを挙げています。21の専門分野を包含する技術士ならではの「特典」ではないでしょうか。

「技術士」は、技術者として歩み続けるための切り札であり、技術士会での活動を通して得られる人的交流は、かけがえのない財産であると感じています。一人でも多くの方に本冊子を読んでもいただき、技術士を目指していただきたいと思います。技術士となって、技術者の交流の輪を広げませんか？

公益社団法人 日本技術士会 男女共同参画推進委員会
女子学生及び女性技術者支援小委員長 笹尾 圭哉子

<男女共同参画推進委員会メンバーの紹介>

○委員

石田 佳子（委員長 衛生工学/建設/総合技術監理）
林 雅弘（副委員長理事 情報工学）
小林 進（副委員長 情報工学/総合技術監理）
飯島 玲子（建設/総合技術監理） 高橋 健一（建設/総合技術監理）
池田 紀子（応用理学/総合技術監理） 高橋 裕二（農業/総合技術監理）
大原 良友（機械/総合技術監理） 武井 加代子（建設）
加藤 亨（情報工学/総合技術監理） 武井 遼（経営工学）
神下 栄（建設/総合技術監理） 中田 よしみ（原子力・放射線）
笹尾 圭哉子（上下水道） 沼澤 朋子（経営工学）
佐藤 律子（環境/建設/総合技術監理） 原田 敬美（建設）
嶋田 弘僭（情報工学/総合技術監理） 廣瀬 由紀（情報工学）
瀬尾 弘美（建設/総合技術監理）

○委員補佐

角田 ふで子（環境） 佐野 愛美（修習技術者 応用理学）
黒木 みつ子（修習技術者 環境） 平塚 由香里（電気電子）
古賀 沙織（資源工学） 山地 真吾（機械）
佐藤 佳乃（修習技術者 農業） 山本 直樹（修習技術者 農業）

『技術士キャリアモデル集

－あなたも技術のプロフェッショナルになりませんか？－』

2019年9月30日 第1版

編集 公益社団法人 日本技術士会 男女共同参画推進委員会

発行 公益社団法人 日本技術士会

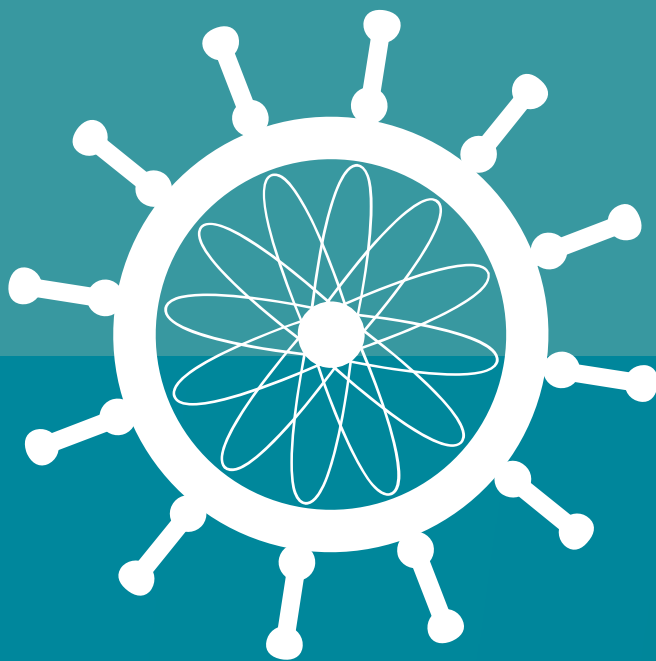
〒105-0011

東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館

TEL (03) 3459-1331 / FAX (03) 3459-1338

URL <https://www.engineer.or.jp/>





2019年9月 公益社団法人 日本技術士会